

# 大町市第3期定住促進ビジョン ( 資料編 )

令和4年3月 策定

大 町 市

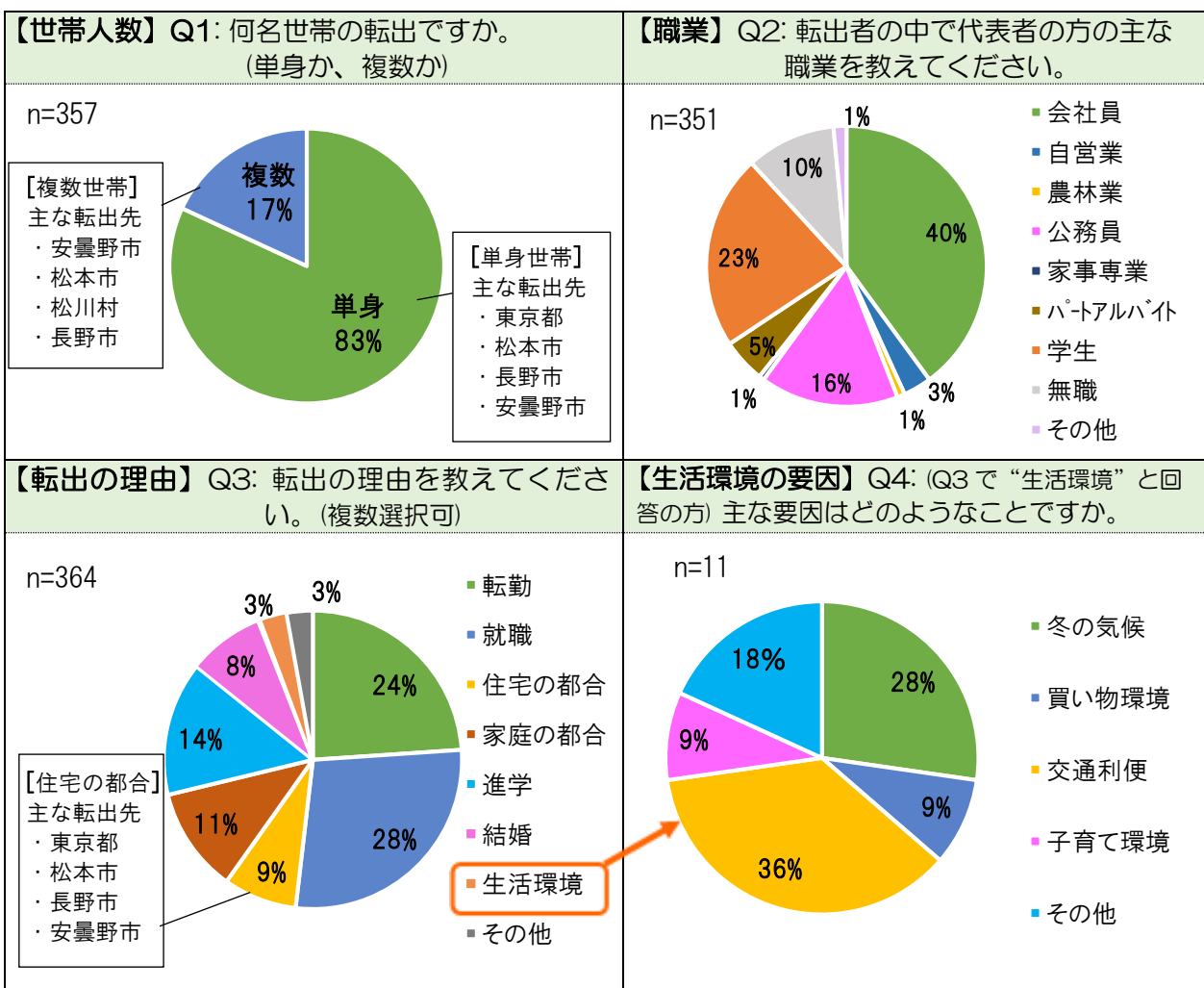
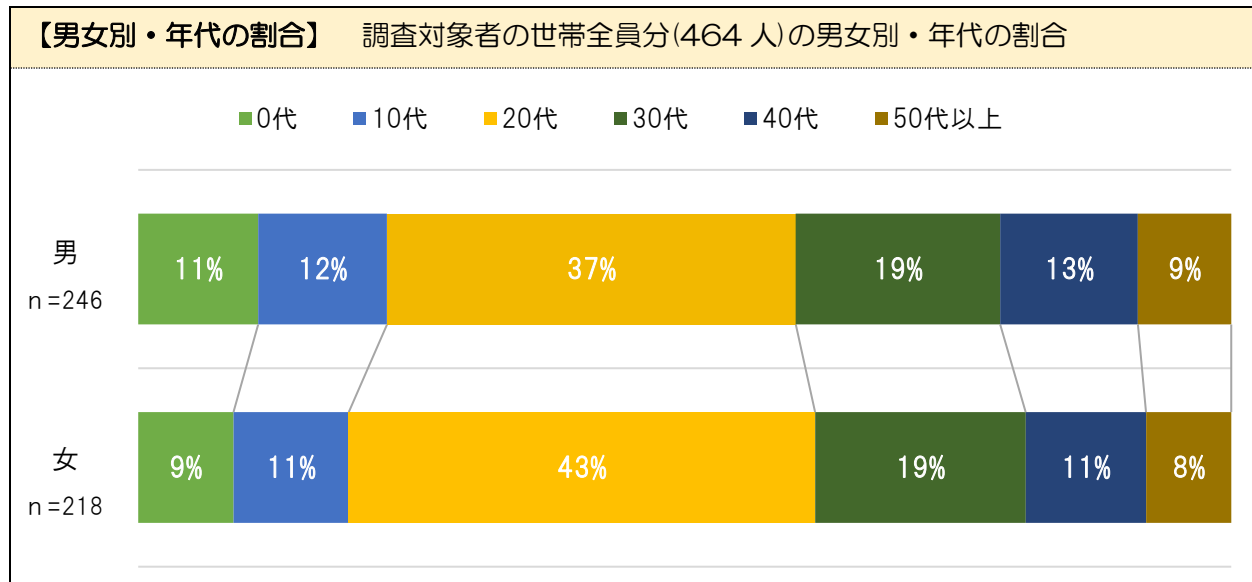
## 目 次

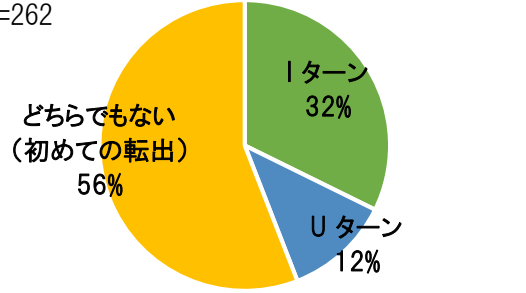
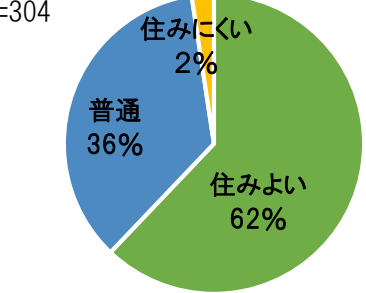
|   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 転出者アンケート集計 .....            | 1  |
| 2 | 自治会長アンケート集計 .....           | 2  |
| 3 | 移住者・移住世帯分析データ .....         | 5  |
| 4 | 市民意識調査（抜粋） .....            | 6  |
| 5 | 移住者の状況及び定住奨励事業実績 .....      | 9  |
| 6 | 第2期定住促進ビジョン施策分野別事業の検証 ..... | 12 |

# 1 転出者アンケート集計

○調査対象者：358人（+184人…回答無し、施設入所）

・令和3年2月1日から令和3年8月31日までの転出者



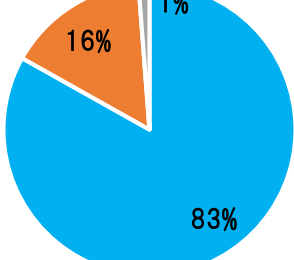
|                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【転入時の状況】</b> Q5: 直近で大町に転入した時の状況を教えてください。                                                                                                                                                   | <b>【住みやすさ】</b> Q6: 大町市の住み心地はいかがでしたか。                                                                                                                      |
| <p>n=262</p>  <p>どちらでもない<br/>(初めての転出)<br/>56%</p> <p>Iターン<br/>32%</p> <p>Uターン<br/>12%</p>                    | <p>n=304</p>  <p>住みにくい<br/>2%</p> <p>普通<br/>36%</p> <p>住みよい<br/>62%</p> |
| <b>【その他ご意見 ～住み続けたい大町にするために～】</b>                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規の仕事があれば、もう少し住み続けたかった。</li> <li>・ 人口減少を食い止められるような政策をして欲しい。</li> <li>・ 景色が最高でずっと住み続けたかったので、それを活かした、人が住みたい魅力ある多様性を認めたまちにしてほしい。移住者とのバランスなど。</li> </ul> |                                                                                                                                                           |

## 2 自治会長アンケート集計

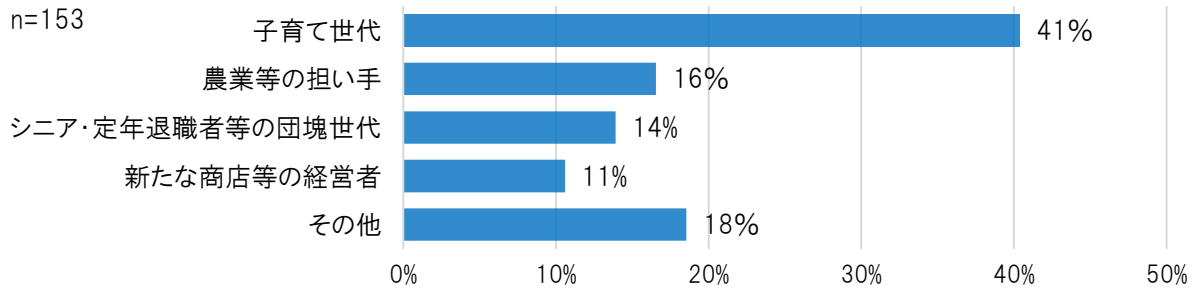
○アンケート調査実施：令和3年9月

○調査対象者：自治会長 市内全98地区

○回収率：83地区(85%)

|                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【移住推進の認知状況】</b> Q1: 大町市が「移住」を推進していることをご存知ですか。                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>n=83</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知っている</li> <li>■ あまり知らない</li> <li>■ 全く知らない</li> </ul>                                  | <p>n=83</p>  <p>83%</p> <p>16%</p> <p>1%</p>                                                                                                                                             |
| <b>【移住者の受入れに関する意向】</b> Q2: 移住者を積極的に地区に受け入れたいですか。                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>n=83</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積極的に受け入れたい</li> <li>■ 受け入れてもよい</li> <li>■ どちらかといえば受け入れたくない</li> <li>■ わからない</li> </ul> | <p>○空き住宅の活用、入居促進をして受け入れたい</p> <p>○自治会に加入してほしいため受け入れたい</p> <p>○地区内の高齢化のため受け入れたい</p> <p>・ どちらかと言えばシニア層は受け入れたくない。/人口減少、少子高齢化状況で地区の活動に支障がでている。</p> <p>○その他意見</p> <p>・ 簡易水道のため、移住者の希望・条件による。/過疎化の進む地域の人口増加は嬉しい。/積極的に受け入れたいとまではいかないが、希望があれば受け入れられる。/以前ほど移住者に対する特別視はなくなってきたと思う。</p> |

【受け入れたい移住者】 Q3: 地区で受け入れたい移住者は、どのような人ですか。(複数選択可)



○子育て世代・若い世代

地区の高齢化が進み、**子どもの声が聞こえない**/保育園、学校の存続のため/行動力のある元気な人に来てほしい。

○どなたでも歓迎

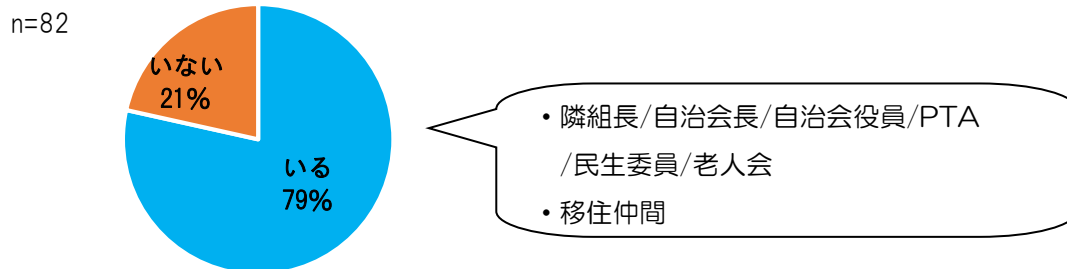
○自治会等、地域活動に積極的に参加してくれる人

戸数の減少、少子高齢化により、**自治会活動や行事に支障**が出始めている。

○その他

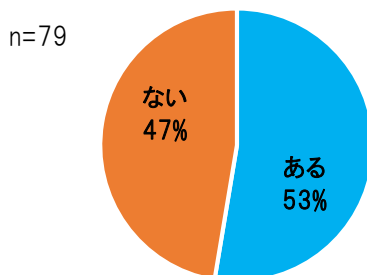
団塊世代は、地区に受け入れられやすいのではないかと/地区内の**農家が半減**し、一戸でも増えてほしい/温厚で**地域に溶け込もうとする人**/風習等を理解しようとしてくれる人。

【相談できる人の有無】 Q4: 移住者に地区の行事やルールを教える人、また、移住者が地区で困ったことがあった時、相談できる人はいますか。



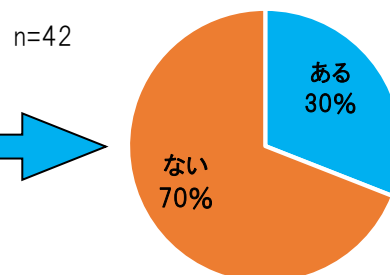
【直近3年間での移住者の有無】

Q5: 直近3年以内で、地区に移住者を受け入れたことがありますか。

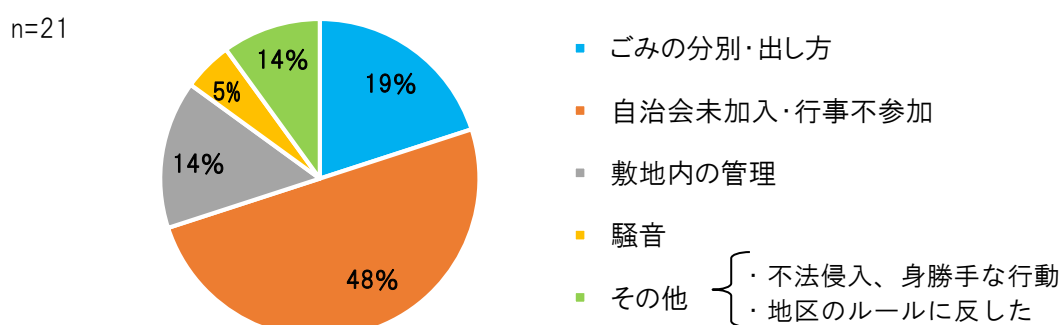


【移住者とのトラブルの有無】

Q6: (Q5で“ある”と回答された地区へ) 移住者とトラブルになったことがありますか。

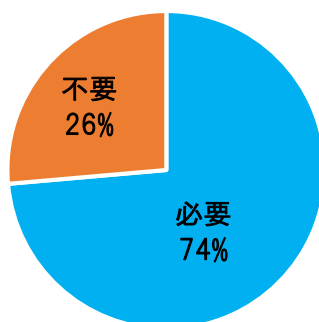


【トラブル内容】 Q7: (Q6で“ある”と回答された地区へ) トラブルはどのような要因でしたか？



【仲介する仕組みの要否】 Q8: 移住後のトラブルを防ぐために、移住希望者に事前に地区のルールや風習を伝える機会として、自治会や隣組へ仲介する仕組みが必要ですか。

n=74



○必要

- ・直接、面会や説明する機会があれば、**移住後もスムーズに地域に溶け込める**と思う。
- ・転入手続き時、自治会や地区の情報を伝えてもらいたい（自治会長／ゴミ分別、資源回収など）
- ・地区単位でまとめて、**ルールや風習をホームページ等で情報提示するのはどうか。**
- ・移住者にとって、自治会や隣組など面倒だと思う傾向があるのではないか。
- ・移住希望者側からも、自治会加入についての疑問や要望等があると思う。
- ・**自治会未加入の場合でも、災害時等何かあった時に近隣同士の助け合いや思いやり**は必要。
- ・**移住してきてよかったと思える仕組み**が必要。仕組みづくりは、自治会内にも必要。

○不要

- ・移住者の意向を尊重したい。
- ・ルールは守って頂きたいが、仲介が入ると移住者側が身構えてしまうのではないか。
- ・仕組みとして制度化は必要ない。各自それ相応に対応できると思う。
- ・特に事前にお伝えしなければいけないことはないように思う。
- ・自治会は任意の団体であるため、**強制と思われるようなことはしない方がよい**と思う。

【その他ご要望・ご意見】

○空き家活用等、住宅事情について

- ・**空き家の活用**のため自治会と行政間で連携をとり移住促進をする。
- ・空き家を**改修**して人が住めるようにしたらどうか。
- ・空き家を**賃貸**できるよう促進してほしい。
- ・定住促進住宅の建設を希望する。

○仕事について

- ・就労の機会を増やすための施策を充実させることが必要。
- ・移住しても、大町市で職を探すのは大変。企業側と自治体のコラボが不可決ではないか。
- ・テレワークを導入している企業はどのくらいあるのか。

○移住者に関する情報提供について(個人情報となるので可能な範囲で希望)

- ・移住者の氏名、家族構成など最低限必要な情報を提供希望。
- ・自治会に加入・未加入に関わらず、**情報があれば、互いにコミュニケーション**がとりやすい。
- ・近隣災害時等何かあった時に、**近隣同士の助け合い**は必要である。
- ・入居された何件かは、自治会未加入のためお話する機会もなく、よくわからない状況。

○交流、話し合いが必要

・山村留学制度の充実等、地区との関わりを持つことは、移住定住を考えてもらうよい機会である。

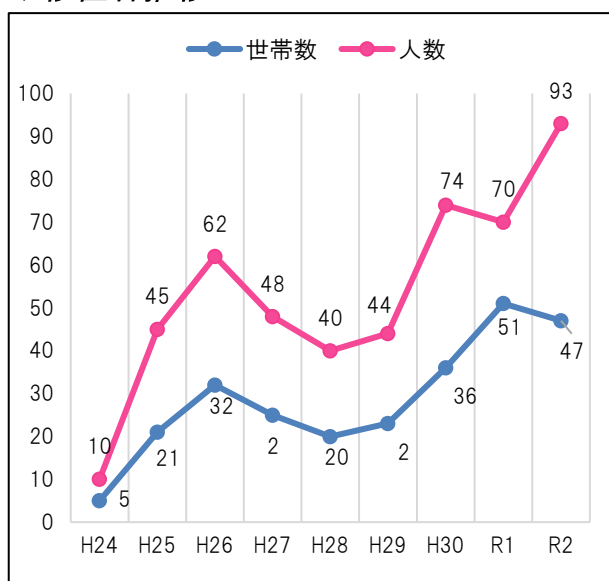
- ・移住者に対し、何も教えてない方もいて、冷たいと感じる。おせっかいくらいがちょうどいい。
- ・移住希望者と行政と自治会代表者での三者面談を希望。
- ・将来のために、今いる人達と移住者でよく話しあい、**今までの意識を変えていく必要**がある。
- ・自治会未加入の場合でも、災害時等何かあった時に近隣同士の助け合いや思いやりは必要。

○その他

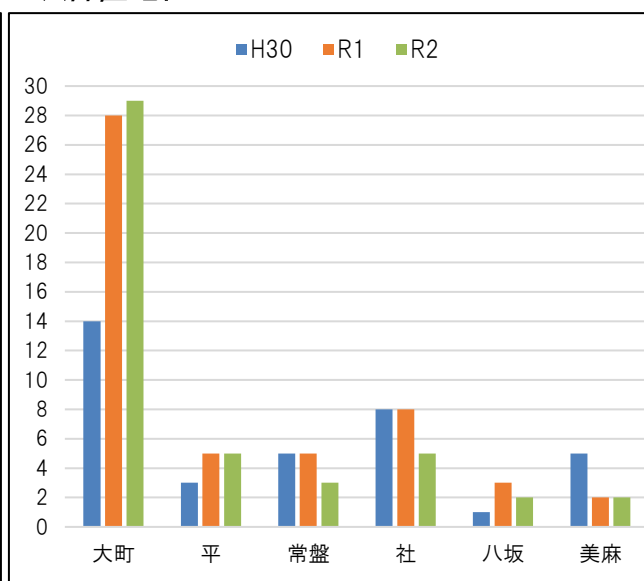
- ・移住のメリットが他市町村と比べてどうかなど、**大町市 PR の機会**を色々な場面で増やしたい。
- ・自治会はほぼ機能していないので、移住して来たとしても、影響はない。

### 3 移住者・移住世帯分析データ

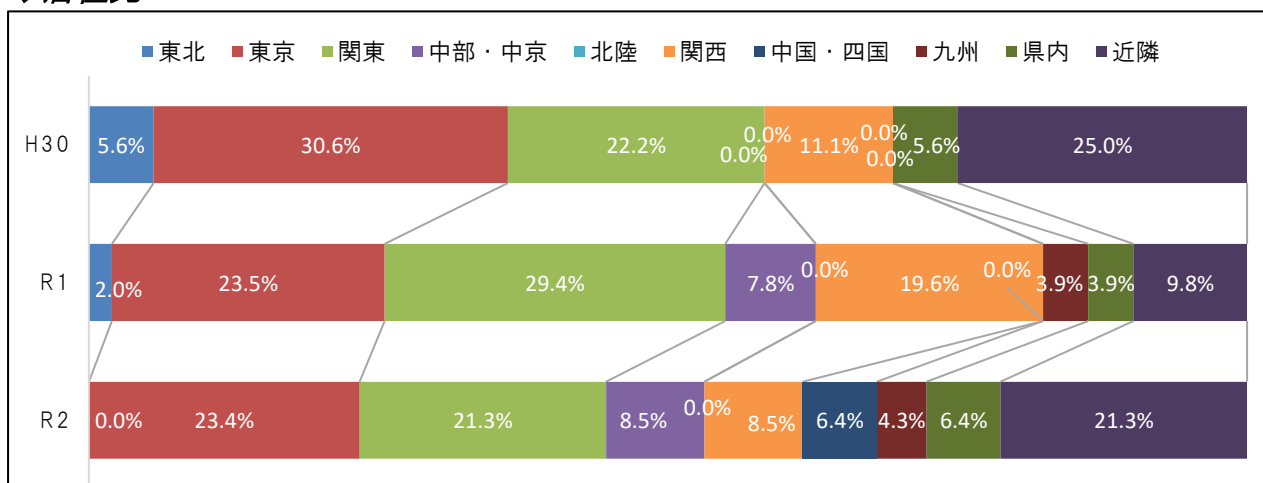
#### ◆移住者推移



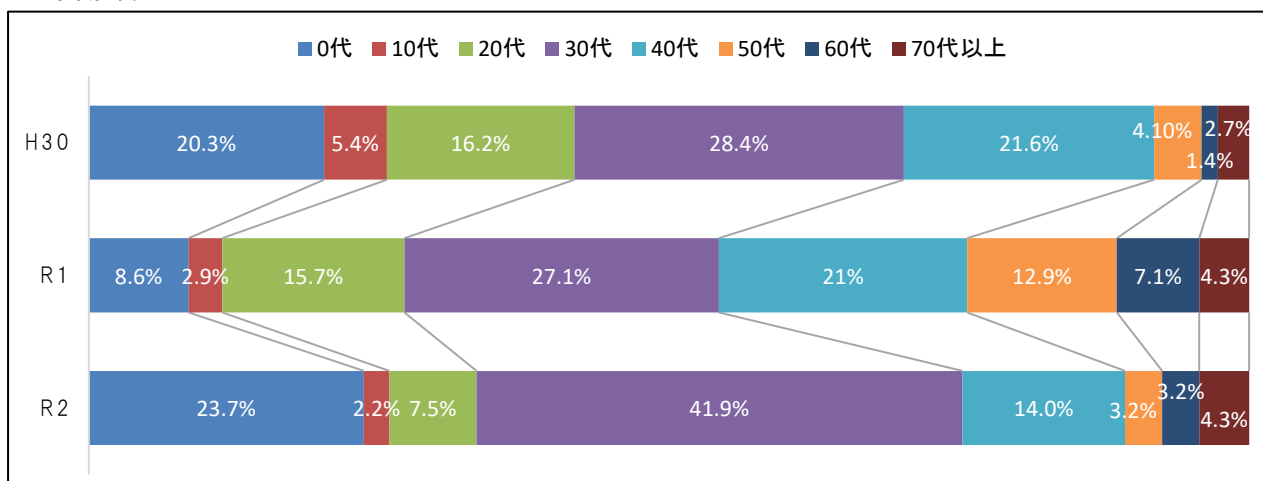
#### ◆居住地区



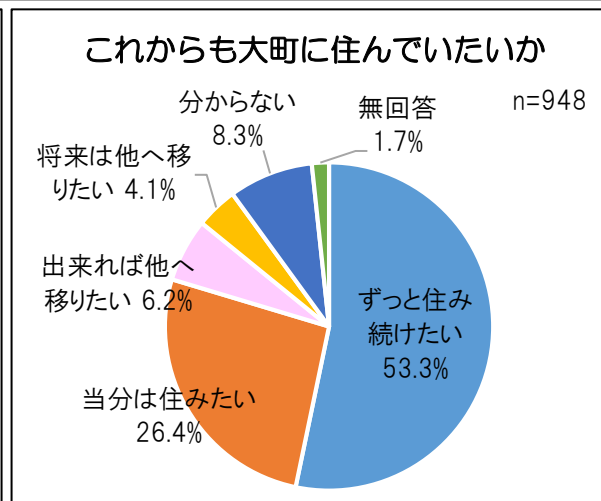
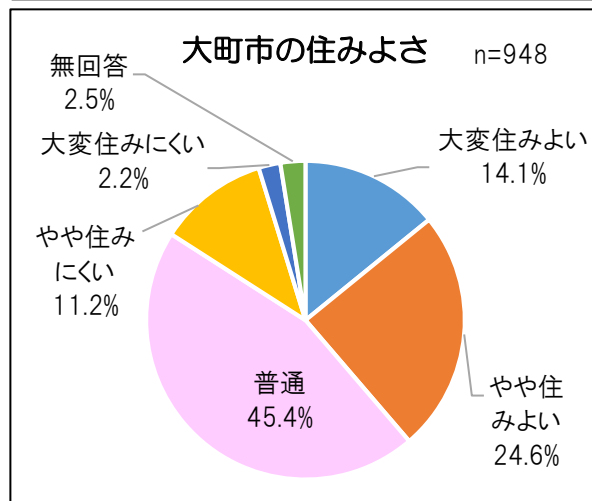
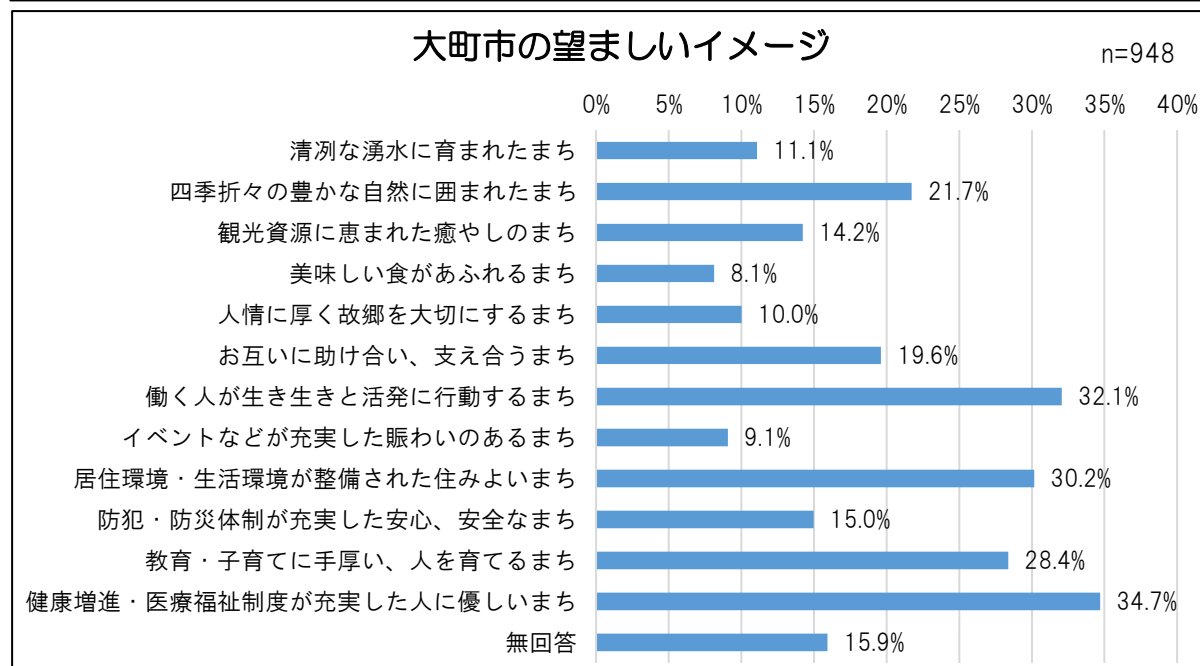
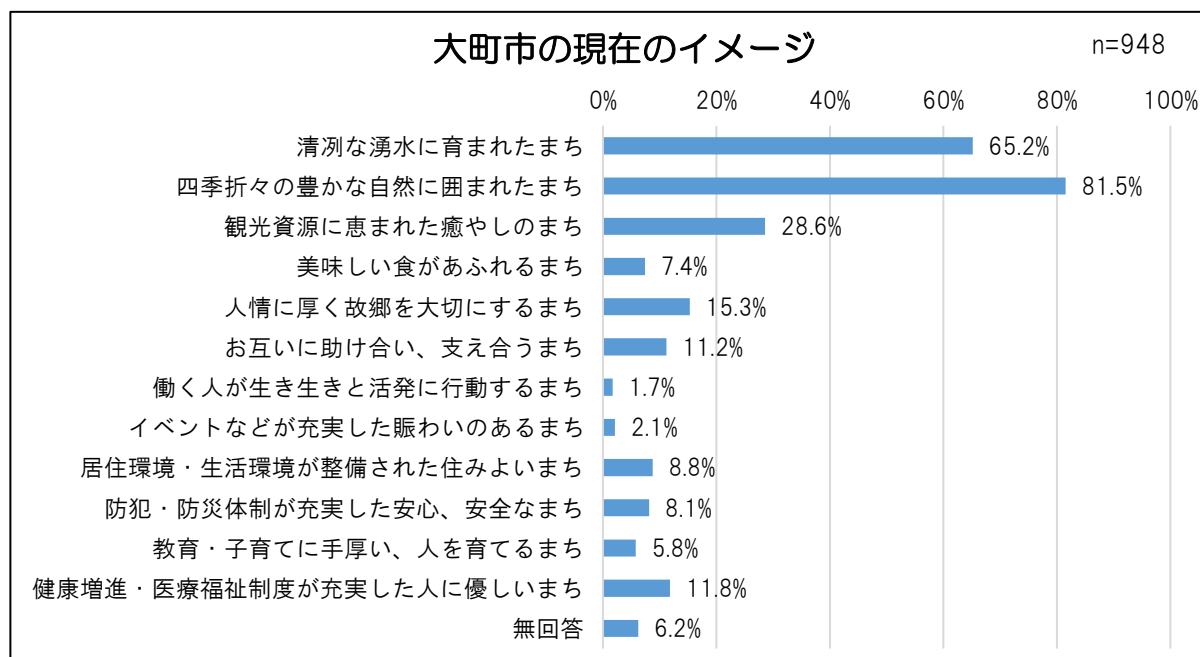
#### ◆居住元



#### ◆年齢層



## 4 市民意識調査（抜粋）



## テーマ別自由記載欄より

### ①「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち」について

|                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子ども達への願い                                                                                 |
| 子ども達の人生が楽しく豊かであるようにいっぱい遊んでほしいと思う。 <b>自然とも友達とも豊かな時間</b> を過ごして大人になってもらいたい。                 |
| <b>自治会の活動に子どもたちも</b> 参加してもらいたい。資源ごみの回収、一斉清掃、町内祭りなど準備段階から関わってほしい。                         |
| 教育への期待/幼少期の郷土愛の醸成                                                                        |
| 子どもたちが大町のことを知ることが出来るよう体験・体感できるよう <b>小さな時から大町の特徴に触れる</b> ようなことができる教育を。                    |
| 郷土への愛着を持てるには、地域の人達との交わりが大切。今は学校への行き帰りの子ども達に気楽に声掛けが出来ません。 <b>地域の人と会話出来る子ども</b> になってもらいたい。 |
| 素晴らしい自然環境                                                                                |
| 大町の恵まれた <b>自然を保全</b> していくことが、ふるさとへの誇りにつながると思う。                                           |
| <b>山の美しさをもっと活かした取り組み</b> ができないものか。市民皆で取組めることを提案してほしい。                                    |
| 地域への愛情/若者支援など                                                                            |
| 若い人が外に出ていき高齢化が進んでいるので残った人たちの負担が大きい。もっと <b>若い人の意見</b> を取り入れるべき。                           |
| 地域の行事や和太鼓の活動を通じ、地域への愛着を持った子ども達が地域外へ出た後、帰って来る例が沢山ある。その子たちが就職できるような企業誘致や支援を充実してほしい。        |
| <b>若い人の農業離れが心配</b> なので、担い手を育ててほしい。                                                       |
| 少子化で子どもが少ないことや、 <b>若い世代がなかなか結婚しない</b> ことは心配。                                             |

### ②「活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち」について

|                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------|
| 交通網等の利便性                                                                           |
| 松糸道路の早期完成が活力ある大町市になると思う。                                                           |
| 近くにインターチェンジがないことがネック。交通の便が悪いことが企業を呼び込めない一つの原因。                                     |
| 魅力の発信                                                                              |
| 観光、文化資源の見直し。今はワイン生産、ぶどう作りが大町の風土に合っている。もっと <b>田園都市としての存在</b> を高める。                  |
| 大町にはどこの市町村よりも誇れる <b>北アルプスの絶景とその恵みの水</b> があると思う。ぜひ、その素晴らしい環境をもっと大切に町づくりをして欲しい。      |
| <b>美しい景色が活用されていない</b> 。コロナの影響もあって、キャンプとか自転車とか流行しているので、もっと観光に力を入れたらいいのではないかな。       |
| まちの活性化                                                                             |
| 大町駅前がとっても寂しいと感じる。雨や雪で濡れないように大きなアーチ形の屋根になっているといった。                                  |
| 水を活用し、地ビール、酒、飲料水などを作り、黒部ダムカレー以外にも名物を作る。商店街を中心とした店舗展開をし、市民の日、県外の日などのキャンペーンを実施して欲しい。 |
| 商店街の <b>空き店舗に新しい人たちが入ってくれるような工夫</b> （賃料の補助等）。木崎湖南側エリアの温泉宿も復活したらおもしろいと思う。           |
| 働く場の確保                                                                             |
| 若い人たちが <b>大町に残って働きたいと思う仕事</b> があればいいと思う。                                           |
| 働く場の確保は確実に必要だが、 <b>若者のニーズに応じた職場の誘致</b> も必要では。また若者が集える（遊び場）も必要ではと思う。                |
| Iターンなどへの <b>起業支援を充実し</b> 、新しい感覚の仕事を広めてほしい。                                         |
| 場所を問わない <b>IT系企業の誘致</b> はどうだろうか。大町の自然でリフレッシュできることを売りにして誘致してほしい。                    |

### ③「だれもが健康で安心して暮らせるまち」について

|                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 保健福祉/生活支援                                                                               |
| 健康体操教室など支援を頂いて感謝している。高齢化により移動手段など困難。公民館に来られる人にも限りを感じる。                                  |
| 高齢化の中、福祉によく取り組んでいると思う。障がい者も街中で散歩していて素晴らしい。                                              |
| 特別養護老人ホームの充実、安心して老人を預けられる施設等、移住者も安心して働きながら介護ができるのを目的として移住する人も出てくるのではないかな。               |
| 今は安心してこの土地が好きで過ごしているが、将来、運転免許証を返納したときに、公共交通機関が少ない土地でどうやって暮らしていくのが不安。                    |
| 医療負担を抑える為の健康づくりの施設を増やし、充実させる。交通弱者に対する公共交通の充実。                                           |
| 大町病院                                                                                    |
| 大町病院のありがたさは、身に染みている。これを基盤として充実した医療体制を整えてほしい。耳鼻科・眼科の毎日の診療体制。                             |
| 移住を決めたのは、大町病院が駅の近くにあるのが一つだ。病院内でのリクエスト改善なり、市民から声を聴くためにアンケートを取ってみてはと思う（地元の病院に特にいけない人の声を）。 |
| 大町病院の充実なくして大町市の医療充実はあり得ない。                                                              |
| 災害への備え                                                                                  |
| 災害が起きた場合、近所の人々で助け合う為に地区ごとの防災訓練を年に何回かできないか。                                              |
| 大規模地震や豪雨災害に備えた道路や河川整備や水道などの安定供給に向けた働きかけをしてほしい。                                          |

### ④「豊かな自然を守り快適に生活できるまち」について

|                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| アクティビティ/地域資源                                                                        |
| 豊かな自然を活用したアクティビティを増やす。サイクリングロード整備、トライアスロン大会の開催。山岳文化を大切に。トレッキングコースの整備や山小屋の支援を。       |
| 自然湖の仁科三湖は大変な財産。周辺を整備し、誰もが一度は観光に来てみたいと思えるようなものにできないか。                                |
| 県外から嫁いできた私は、大自然の素晴らしさに感動した。水や空気の美味しさ、この素晴らしい自然をこれからも守り続けてほしい。                       |
| 獣害への懸念                                                                              |
| 山からクマやイノシシが町に出てこられないような山を豊かにしたらいいまちになると思う。                                          |
| 自然豊かな街を自然の良さを活かしつつ野生動物の事故がないようにしていくことが大事。現状はサルで大変に困っている。とても快適に人が暮らせるような感じではない。      |
| 景観保全/東山                                                                             |
| 自然環境の保全、太陽光発電等を秩序を保って行うべき。                                                          |
| 空き家、耕作放棄地の草刈りの対応。電柱、景観を考慮せずに建っています。北アルプスを意識した建設を望む。                                 |
| 鷹狩山山頂から、北アルプス～大町市の眺めは素晴らしいものがある。もっと多くの人にその場所へ行って（高齢者・子どもでも手軽に行かれる方法を考えてほしい）、眺めてほしい。 |

### ⑤「市民の参画と協働でつくるまち」について

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 「協働」/市民の声                                         |
| 市政に興味を持つ人が増えなければ、市民の参画と協働でつくるまちづくりは難しいと思う。        |
| 地域、会社、学校などの単位で参画を促し、幅広い意見の収集、そして行動が必要だと思う。        |
| 住みやすい大町にするために、参加しやすい情報提供を望む。もっとネット、SNS等の活用。       |
| 選挙権を18歳からもつようになり、子どものうちから市政に参画したり、勉強する機会があると良い。   |
| 地域のお祭り、消防など人が少ないので、同じ人に偏りがち。一人の負担が大きいと地域の活動離れが進む。 |

## ５ 移住者の状況及び定住奨励事業実績

### ◆移住者の状況（市の移住相談窓口を経由したもの）

#### ①移住先別世帯数

（件）

|    | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | 計   | 構成比<br>(%) |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|------------|
| 大町 | 12  | 8   | 7   | 9   | 14  | 28 | 29 | 107 | 46%        |
| 平  | 4   | 4   | 7   | 4   | 3   | 5  | 5  | 32  | 14%        |
| 常盤 | 3   | 2   | 0   | 2   | 5   | 5  | 4  | 21  | 9%         |
| 社  | 4   | 3   | 4   | 2   | 8   | 8  | 5  | 34  | 14%        |
| 八坂 | 5   | 4   | 0   | 0   | 1   | 3  | 2  | 15  | 6%         |
| 美麻 | 4   | 4   | 2   | 6   | 5   | 2  | 2  | 25  | 11%        |
| 計  | 32  | 25  | 20  | 23  | 36  | 51 | 47 | 234 | 100%       |

#### ②移住前地域別世帯数

（件）

|       | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | 計   | 構成比<br>(%) |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|------------|
| 近隣市町村 | 8   | 3   | 5   | 6   | 9   | 5  | 10 | 46  | 20%        |
| 県内    | 0   | 1   | 2   | 1   | 2   | 2  | 3  | 11  | 5%         |
| 関東    | 14  | 15  | 10  | 10  | 18  | 27 | 21 | 115 | 49%        |
| 中部・中京 | 4   | 2   | 2   | 2   | 0   | 4  | 4  | 18  | 7%         |
| 関西    | 4   | 3   | 0   | 2   | 4   | 10 | 4  | 27  | 12%        |
| その他   | 2   | 1   | 1   | 2   | 3   | 3  | 5  | 17  | 7%         |
| 計     | 32  | 25  | 20  | 23  | 36  | 51 | 47 | 234 | 100%       |

#### ③年代別人数

（人）

|       | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | 計   | 構成比<br>(%) |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|------------|
| 10歳未満 | 11  | 7   | 6   | 10  | 15  | 6  | 22 | 77  | 18%        |
| 10代   | 5   | 2   | 2   | 3   | 4   | 2  | 2  | 20  | 4%         |
| 20代   | 7   | 2   | 4   | 2   | 12  | 11 | 7  | 45  | 10%        |
| 30代   | 17  | 9   | 8   | 9   | 21  | 19 | 39 | 122 | 28%        |
| 40代   | 12  | 17  | 8   | 6   | 16  | 15 | 13 | 87  | 20%        |
| 50代   | 2   | 5   | 6   | 3   | 3   | 9  | 3  | 31  | 7%         |
| 60代   | 6   | 6   | 3   | 6   | 1   | 5  | 3  | 30  | 9%         |
| 70代以上 | 2   | 0   | 3   | 5   | 2   | 3  | 4  | 19  | 4%         |
| 計     | 62  | 48  | 40  | 44  | 74  | 70 | 93 | 431 | 100%       |

◆ 定住奨励事業の状況

①マイホーム取得助成

(件・円)

| 年度     |        |    |      | 基本助成金      | 加算分       |           |           |           |         | 合計         |
|--------|--------|----|------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------------|
|        |        |    |      | 新築・購入      | 市内業者      | 子育て世代     | 50歳未満     | 三世代同居・近居  | CATV    |            |
|        |        |    |      | 2 0 万      | 5 万       | 5 万       | 5 万       | 1 万※      | 上限 4 万  |            |
| H 28   | 市内     | 56 | 交付額計 | 16,400,000 | 850,000   | —         | 2,950,000 | —         | 402,996 | 20,602,996 |
|        | 転入     | 26 | 件数   | 82         | 17        | —         | 59        | —         | 12      | 82         |
|        | 内<br>訳 |    | 新築   | 10,000,000 | 850,000   | —         | 2,000,000 | —         | 355,996 | 13,205,996 |
|        |        |    | 件数   | 50         | 17        | —         | 40        | —         | 10      | 50         |
|        |        |    | 購入   | 6,400,000  | —         | —         | 950,000   | —         | 47,000  | 7,397,000  |
|        |        |    | 件数   | 32         | —         | —         | 19        | —         | 2       | 32         |
| H 29   | 市内     | 48 | 交付額計 | 15,200,000 | 550,000   | —         | 2,950,000 | 1,150,000 | 581,948 | 20,431,948 |
|        | 転入     | 28 | 件数   | 76         | 11        | —         | 59        | 23        | 17      | 76         |
|        | 内<br>訳 |    | 新築   | 8,600,000  | 550,000   | —         | 1,800,000 | 1,100,000 | 379,700 | 12,429,700 |
|        |        |    | 件数   | 43         | 11        | —         | 36        | 22        | 11      | 43         |
|        |        |    | 購入   | 6,600,000  | —         | —         | 1,150,000 | 50,000    | 202,248 | 8,002,248  |
|        |        |    | 件数   | 33         | —         | —         | 23        | 1         | 6       | 33         |
| H 30   | 市内     | 55 | 交付額計 | 16,800,000 | 750,000   | —         | 3,650,000 | 2,050,000 | 498,920 | 23,748,920 |
|        | 転入     | 29 | 件数   | 84         | 15        | —         | 73        | 41        | 15      | 84         |
|        | 内<br>訳 |    | 新築   | 11,800,000 | 750,000   | —         | 2,600,000 | 1,650,000 | 319,192 | 17,119,192 |
|        |        |    | 件数   | 59         | 15        | —         | 52        | 33        | 9       | 59         |
|        |        |    | 購入   | 5,000,000  | —         | —         | 1,050,000 | 400,000   | 179,728 | 6,629,728  |
|        |        |    | 件数   | 25         | —         | —         | 21        | 8         | 6       | 25         |
| R 1    | 市内     | 53 | 交付額計 | 15,400,000 | 750,000   | —         | 2,950,000 | 1,450,000 | 502,400 | 21,052,400 |
|        | 転入     | 24 | 件数   | 77         | 15        | —         | 59        | 29        | 15      | 77         |
|        | 内<br>訳 |    | 新築   | 9,800,000  | 750,000   | —         | 2,050,000 | 1,150,000 | 314,700 | 14,064,700 |
|        |        |    | 件数   | 49         | 15        | —         | 41        | 23        | 9       | 49         |
|        |        |    | 購入   | 5,600,000  | —         | —         | 900,000   | 300,000   | 187,700 | 6,987,700  |
|        |        |    | 件数   | 28         | —         | —         | 18        | 6         | 6       | 28         |
| R 2    | 市内     | 65 | 交付額計 | 19,000,000 | 1,000,000 | 2,550,000 | 3,850,000 | 380,000   | 111,000 | 26,891,000 |
|        | 転入     | 30 | 件数   | 95         | 20        | 51        | 77        | 38        | 4       | 95         |
|        | 内<br>訳 |    | 新築   | 12,400,000 | 1,000,000 | 2,150,000 | 2,800,000 | 350,000   | 76,000  | 18,776,000 |
|        |        |    | 件数   | 62         | 20        | 43        | 56        | 35        | 2       | 62         |
|        |        |    | 購入   | 6,600,000  | —         | 400,000   | 1,050,000 | 30,000    | 35,000  | 8,115,000  |
|        |        |    | 件数   | 33         | —         | 8         | 21        | 3         | 2       | 33         |
| 合計交付件数 |        |    |      | 414 件      | 78 件      | 51 件      | 327 件     | 131 件     | 63 件    |            |



※三世代同居・近居加算：H29～R1 まで5万円

|     |    |       |
|-----|----|-------|
| 内訳1 | 新築 | 263 件 |
|     | 購入 | 151 件 |
| 内訳2 | 市内 | 277 件 |
|     | 転入 | 137 件 |

②地域商品券事業（地域商品券3万円贈呈）

| 奨励事業名     |                  | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | R2     |
|-----------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 申請件数(件)   | 子育て応援します！育児家庭応援  | 167    | 145    | 191    | 154    | 153    | 144    |
|           | 入学おめでとう！入学お祝い    | 207    | 174    | 168    | 188    | 162    | 139    |
|           | お帰りなさい！ふるさと      | 12     | 13     | 15     | 6      | 17     | 29     |
|           | ようこそ大町へ！移住奨励     | 28     | 42     | 22     | 29     | 47     | 35     |
|           | 新婚さん応援します！新婚生活応援 | 48     | 39     | 45     | 41     | 46     | 50     |
|           | 合 計              | 462    | 413    | 441    | 418    | 425    | 397    |
| 交付金額計(千円) |                  | 13,860 | 12,390 | 13,230 | 12,540 | 12,750 | 11,910 |
| 換金額総額(千円) |                  | 13,755 | 12,236 | 13,051 | 12,490 | 12,627 | 11,790 |
| 使 用 率(%)  |                  | 99.2   | 98.80  | 98.65  | 99.60  | 99.03  | 98.99  |

③長野県有料道路利用者負担軽減事業 ※三才山はR2.8月末で終了

| 道路名等    | H27<br>※100枚単位  |                 | H28<br>※50枚単位   |                 | H29<br>※50枚単位   |                 | H30<br>※50枚単位   |                 | R1<br>※50枚単位    |                 | R2<br>※50枚単位    |                 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|         | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) | 申請<br>者数<br>(人) | 販売<br>冊数<br>(冊) |
|         |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 白馬長野(普) | 21              | 25              | 45              | 85              | 34              | 80              | 49              | 111             | 58              | 107             | 47              | 96              |
| 白馬長野(軽) | 9               | 12              | 13              | 26              | 9               | 22              | 12              | 23              | 22              | 39              | 26              | 52              |
| 三才山(普)  | 2               | 2               | 8               | 9               | 6               | 6               | 15              | 17              | 14              | 16              | 2               | 2               |
| 三才山(軽)  | 1               | 1               | 1               | 1               | 4               | 4               | 2               | 3               | 4               | 5               | 0               | 0               |
| 合 計     | 33              | 40              | 67              | 121             | 53              | 112             | 78              | 154             | 98              | 167             | 75              | 150             |

④空き家改修事業補助金

|          | H27       | H28       | H29       | H30       | R1        | R2        |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 交付件数(件)  | 5         | 6         | 7         | 7         | 8         | 13        |
| 補助金額計(円) | 1,470,000 | 1,800,000 | 1,951,000 | 2,046,000 | 2,400,000 | 3,831,000 |

## 6 第2期定住促進ビジョン施策分野別事業の検証

### 事業一覧

| No.  | 担当課      | 事業名                           | ページ |
|------|----------|-------------------------------|-----|
| 1-1  | 建設課      | 安心・安全住宅リフォーム支援事業              | 14  |
| 1-2  | 商工労政課    | 勤労者住宅建設資金利子補給金                | 14  |
| 1-3  | 八坂・美麻支所  | 過疎地域住宅新築資金等利子補給金              | 14  |
| 1-4  | 八坂・美麻支所  | 過疎地域定住促進奨励                    | 14  |
| 1-5  | 八坂・美麻支所  | 定住促進住宅の整備                     | 15  |
| 1-6  | まちづくり交流課 | マイホーム取得助成                     | 15  |
| 1-7  | まちづくり交流課 | 空き家改修事業補助金                    | 15  |
| 1-8  | まちづくり交流課 | 空き家等有効活用事業                    | 15  |
| 1-9  | まちづくり交流課 | 東京大学・信州大学共同研究事業               | 16  |
| 2-1  | 産業立地戦略室  | 企業誘致推進事業                      | 16  |
| 2-2  | 商工労政課    | 空き店舗活用事業                      | 16  |
| 2-3  | 商工労政課    | 大町市中小企業融資制度資金                 | 16  |
| 2-4  | 商工労政課    | 創業支援協議会による移住・定住促進事業           | 17  |
| 2-5  | 商工労政課    | 企業説明会（就職面接会）の開催               | 17  |
| 2-6  | 農林水産課    | 新規就農支援                        | 17  |
| 2-7  | 八坂・美麻支所  | 過疎地域起業者育成支援事業                 | 17  |
| 2-8  | 八坂・美麻支所  | 過疎地域就職促進奨励金                   | 18  |
| 2-9  | まちづくり交流課 | 県有料道路利用者負担軽減事業                | 18  |
| 3-1  | 子育て支援課   | 出産祝金事業                        | 18  |
| 3-2  | 子育て支援課   | こんにちは赤ちゃん訪問事業                 | 18  |
| 3-3  | 子育て支援課   | ファミリーサポートセンター事業               | 19  |
| 3-4  | 子育て支援課   | 定住奨励事業 育児家庭応援事業（地域商品券贈呈）      | 19  |
| 3-5  | 子育て支援課   | 子育て支援ショートステイ事業                | 19  |
| 3-6  | 子育て支援課   | 病児保育事業                        | 19  |
| 3-7  | 子育て支援課   | 放課後児童クラブ                      | 20  |
| 3-8  | 市民課      | 妊娠・出産・育児支援事業                  | 20  |
| 3-9  | 市民課      | 子ども医療費助成                      | 20  |
| 3-10 | 市民課      | 特定健康診査の無料受診                   | 20  |
| 3-11 | 市民課      | 県民交通災害共済加入公費負担                | 21  |
| 3-12 | 福祉課      | 北アルプス連携自立圏による地域力の向上と経済・生活圏の形成 | 21  |
| 3-13 | 情報交通課    | 市民バス運行事業                      | 21  |
| 3-14 | 情報交通課    | 公共交通対策事業                      | 21  |
| 3-15 | 消防防災課    | 消防団及び自主防災組織等を中心とした地域防災力の強化    | 22  |
| 3-16 | 消防防災課    | 防災士の育成                        | 22  |
| 3-17 | 建設課      | 市道除排雪                         | 22  |
| 3-18 | 学校教育課    | 定住奨励事業 入学お祝い（地域商品券贈呈）         | 22  |
| 3-19 | 学校教育課    | 学校給食費助成                       | 23  |

| No.  | 担当課      | 事業名                                   | ページ |
|------|----------|---------------------------------------|-----|
| 3-20 | 生涯学習課    | 家庭教育支援の推進                             | 23  |
| 3-21 | 生涯学習課    | 学校・家庭・地域の幅広い連携による学習支援                 | 23  |
| 3-22 | 生涯学習課    | 家庭や地域、関係機関の連携強化・身近な地域で子どもを育てる環境の整備    | 23  |
| 3-23 | 大町病院     | 周産期医療の充実                              | 23  |
| 3-24 | 大町病院     | 小児医療の充実                               | 24  |
| 3-25 | まちづくり交流課 | 大町市ひとが輝くまちづくり事業補助金                    | 24  |
| 3-26 | まちづくり交流課 | 自治会等地域コミュニティ活動の強化                     | 24  |
| 3-27 | まちづくり交流課 | 定住奨励事業 Uターン促進（地域商品券贈呈）                | 24  |
| 3-28 | まちづくり交流課 | 定住奨励事業 Iターン促進（地域商品券贈呈）                | 24  |
| 3-29 | まちづくり交流課 | 定住奨励事業 新婚生活応援（地域商品券贈呈）                | 24  |
| 3-30 | まちづくり交流課 | 移住奨励事業 就業者等移住支援金事業                    | 25  |
| 4-1  | 商工労政課    | 信濃大町サポーター事業                           | 25  |
| 4-2  | 商工労政課    | 地域ブランド調査における認知度順位向上                   | 25  |
| 4-3  | 商工労政課    | 地域ブランド調査における魅力度順位向上                   | 25  |
| 4-4  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>コミュニティ・スクールの推進     | 26  |
| 4-5  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>小中一貫教育の推進          | 26  |
| 4-6  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>ふるさと教育・特色ある学校教育の推進 | 26  |
| 4-7  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>小規模特認校制度の活用        | 26  |
| 4-8  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>中高連携教育の推進          | 27  |
| 4-9  | 学校教育課    | 地域に根差した学校づくりの推進<br>給付型奨学金の給付          | 27  |
| 4-10 | 生涯学習課    | 郷土学習の充実と交流の促進                         | 27  |
| 4-11 | スポーツ課    | スポーツ合宿などの誘致事業                         | 27  |
| 4-12 | まちづくり交流課 | アーティスト・イン・レジデンス事業及び北アルプス国際芸術祭の開催      | 28  |
| 4-13 | まちづくり交流課 | まちづくり活動の情報収集と発信                       | 28  |
| 4-14 | まちづくり交流課 | 男女共同参画社会推進事業                          | 28  |
| 4-15 | まちづくり交流課 | 移住促進事業 都市部移住セミナーの開催                   | 28  |
| 4-16 | まちづくり交流課 | 魅力体験ツアー事業                             | 28  |
| 4-17 | まちづくり交流課 | 地域の魅力情報発信事業                           | 29  |
| 4-18 | まちづくり交流課 | 定住促進アドバイザー事業                          | 29  |
| 4-19 | まちづくり交流課 | お試し暮らし体験事業                            | 29  |
| 4-20 | まちづくり交流課 | Uターン促進事業<br>市出身者や若者への情報発信事業           | 29  |
| 4-21 | まちづくり交流課 | 移住者交流会事業                              | 30  |
| 4-22 | まちづくり交流課 | 北アルプス連携自立圏事業 移住交流事業（～R6）              | 30  |
| 4-23 | まちづくり交流課 | 北アルプス連携自立圏事業 若者交流事業（～R6）              | 30  |

# 1 住宅環境の向上

## 1-1 安心・安全住宅リフォーム支援事業/建設課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                 | (基準値)・R2 実績値 | 目標値      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (一)・R2:167 件 | 年間 130 件 |
| ①評価・意見 / ②課題(取り組みが遅れている理由) / ③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                   |              |          |
| <p>①住宅リフォームが促進され、良質な住宅ストックの形成、定住促進が図れる。市内経済の活性化に相当の波及効果がある。</p> <p>②自然災害の防災、減災の観点、周辺住環境を改善する観点から、住宅リフォーム工事に合わせて行う防災減災型外構工事を補助対象経費に加え創設したが、直近 2 年度分の申請状況は、リフォーム需要は減少している。防災減災型外構工事の申請件数が伸び悩んでいる。</p> <p>③個人資産の価値が向上する側面のある事業であること、財源がすべて一般財源であることから恒久施策とせず、事業期間を 3 年間、令和 4 年度までとする。</p> |              |          |

## 1-2 勤労者住宅建設資金利子補給金/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                           | (基準値)・R2 実績値             |         |         | 目標値 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---------|---------|-----|
| 交付件数                                                                                                                                                                                                                             | (H27:10 件)<br>(H30:10 件) | R1:15 件 | R2:15 件 | —   |
| ①評価・意見 / ②課題(取り組みが遅れている理由) / ③今後の方向性                                                                                                                                                                                             |                          |         |         |     |
| <p>①新型コロナウイルス感染症に係る経済対策連絡会議を設置し、関係機関との連携によりコロナ禍における経済情勢を把握でき、状況に応じた対策を講ずることができた。</p> <p>②コロナ禍における勤労者の生活実態の把握や融資実行機関となる長野県労働金庫との連携強化。</p> <p>③コロナ禍における当該資金の運用状況や勤労者の生活実態等、融資窓口となる金融機関での相談に応じて迅速な対応に努める。経済対策連絡会議等を通じた状況把握に努める。</p> |                          |         |         |     |

## 1-3 過疎地域住宅新築資金等利子補給金/八坂支所・美麻支所

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                            | (基準値)・R2 実績値 |        |        | 目標値 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|--------|-----|
| 交付件数(八坂)                                                                                                                                                                                                                                                                          | (H27:1 件)    | R1:0 件 | R2:0 件 | —   |
| 交付件数(美麻)                                                                                                                                                                                                                                                                          | (H27:1 件)    | R1:2 件 | R2:2 件 | —   |
| ①評価・意見 / ②課題(取り組みが遅れている理由) / ③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                              |              |        |        |     |
| <p>①(八坂)増改築ではなく、生活に便利な地区へ新築する例が多い。<br/>(美麻)実績件数は少ないが、定住促進と過疎防止を図る事業である。新過疎計画上の「重点地域」としての対応、空き家対策の検討が必要。</p> <p>②(八坂)既存の住宅を増改築しても住み続けたいと思える地域(魅力の向上)に資する施策をいかに推進していくかが課題。<br/>(美麻)対象者を漏れなく把握する方法がなく、申請や地域からの情報提供による確認となっている。</p> <p>③(八坂美麻)地域に住み続けるメリットにつなげるため、制度の周知に努め、継続を図る。</p> |              |        |        |     |

## 1-4 過疎地域定住促進奨励/八坂支所・美麻支所

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | (基準値)・R2 実績値 |        |        | 目標値 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|--------|-----|
| 交付件数(八坂)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (H27:1 件)    | R1:1 件 | R2:1 件 | —   |
| 交付件数(美麻)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (H27:1 件)    | R1:0 件 | R2:1 件 | —   |
| ①評価・意見 / ②課題(取り組みが遅れている理由) / ③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                             |              |        |        |     |
| <p>①(八坂)空き家の利活用は、集落の維持や地域活性化につながる即効性のある定住促進施策である。<br/>(美麻)地域の担い手確保の一助となっている。新過疎計画上の「重点地域」としての対応が求められ、特に、空き家対策の検討が重要。</p> <p>②(八坂)空き家への問合せは多いが、紹介できる物件が少ない上古く、修繕が高額となることや、所有者の了解が得られない空き家が多く、マッチングにつながらない。<br/>(美麻)対象となり得る方へ漏れのない案内を行うこと。自治会加入が進まない時は、申請期間が過ぎてしまう。</p> <p>③(八坂・美麻)自治会等と連携し、所有者に向けて空き家の利活用への理解を深められるよう働きかけを行う。</p> |              |        |        |     |

### 1-5 定住促進住宅の整備/八坂支所・美麻支所

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | (基準値)・R2 実績値 |                             | 目標値    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------|--------|
| 定住促進住宅戸数(八坂)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (H28:23戸)    | R2:27戸                      | R2:24戸 |
| 定住促進住宅戸数(美麻)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (H28:14戸)    | R2:17戸<br>(R3:3棟建設中,譲渡可能1棟) | R2:17戸 |
| ①評価・意見／②課題(取り組みが遅れている理由)／③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |                             |        |
| <p>①(八坂)入居者の自治会活動等への参加により、<b>集落機能の維持や活性化につながっている</b>。<br/> (美麻) 北部は建設要望があっても反映できない規制区域のため、地域の不満となっている。一方で、定住施策として十分な数の整備がされたとも考え、<b>譲渡が進まない状況</b>や費用対効果を考えるうえで、新たな手法を検討する必要があると考える。</p> <p>②(八坂)<br/> (美麻)平成 25 年度に定住促進住宅譲渡規則を設け、設置から8年経過した戸建ては、要件等を満たせば譲渡可能。新築の場合は、8年経過後も譲渡価格が高額になることが想定され、譲渡が進まない可能性がある。</p> <p>③(八坂)入居者が恒久的に定住するよう、意見交換等を行い、課題の把握等に努め、今後の当事業の在り方については、地域と連携し進める。<br/> (美麻)譲渡を推進する。</p> |              |                             |        |

### 1-6 マイホーム取得助成/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                          | (基準値)・R2 実績値 |                | 目標値       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|-----------|
| 交付件数                                                                                            | (H30:84件)    | H28～R2 合計:414件 | 5年累計:425件 |
| ①評価・意見／②課題(取り組みが遅れている理由)／③今後の方向性                                                                |              |                |           |
| <p>①戸建住居の新築・購入に対しての助成は、定住促進に直結し、<b>転出抑制</b>に資する。</p> <p>② —</p> <p>③新過疎計画等との整合性を図り、今後も継続する。</p> |              |                |           |

### 1-7 空き家改修事業補助金/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                     | (基準値)・R2 実績値 |               | 目標値      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|----------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                       | (H30:7件)     | H28～R2 累計:41件 | 5年累計:50件 |
| ①評価・意見／②課題(取り組みが遅れている理由)／③今後の方向性                                                                                                                                                           |              |               |          |
| <p>①移住検討者は戸建を希望する場合が多く、空き家への要望度が高い。空き家の流通や利活用には多くの場合、改修が必要であることから事業効果は高い。</p> <p>②空き家所有者の利活用への認知が低いことが考えられ、<b>空き家バンク登録に結びつく物件が少ない</b>。</p> <p>③空き家を放置せず、利活用への啓発を進め、移住定住希望者への住宅供給を推進する。</p> |              |               |          |

### 1-8 空き家等有効活用事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                  | (基準値)・R2 実績値 | 目標値 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| 住宅情報誌発行回数                                                                               | 毎月 1 回       | —   |
| ①評価・意見／②課題（取り組みが遅れている理由）／③今後の方向性                                                        |              |     |
| ①空き家バンク協力事業者連絡会で登録物件の利活用及び物件の発掘を図り、流通促進に役立てている。                                         |              |     |
| ②目視で確認できる空き家の数に比して、空き家バンク登録物件数が少ない。制度の周知と空き家の利活用に対する啓発を重点的に行う必要がある。                     |              |     |
| ③戸建住居は移住検討者からの要望が多い。移住者の住居に関する希望に応えるためにも空き家所有者に対する意向調査と空き家バンク制度の周知啓発に注力し、流通を促せるよう発行を行う。 |              |     |

## 1-9 東京大学・信州大学共同研究事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | (基準値)・R2 実績値 | 目標値 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| —                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | —            | —   |
| ①評価・意見／②課題（取り組みが遅れている理由）／③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                            |              |     |
| <p>①空き資源の活用、流通におけるまちづくりについて東大・信大と共同研究を進めており、R3 は「シャッターオープンプロジェクト」の開催により 10 店舗の試験的活用が実現した。<b>まちなかの賑わいを地域活性化につなぐ</b>事業として評価。</p> <p>②中心市街地の空き家（店舗兼用住宅）の所有者と利用希望者のマッチングをどう図るか。空き家の利活用や市街地等の活性化を官民連携で取り組むために立ち上げた「まち守舎」の今後の運用。</p> <p>③今年度の試験的活用事業を活かし、具体的な利活用に向けたステップアップが必要であることから、大学や関係課と連携しながら共同研究を推進する。</p> |              |     |

## 2 働く場の確保

### 2-1 企業誘致推進事業/産業立地戦略室

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                     | (基準値)・R2 実績値            | 目標値       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------|
| 誘致企業数                                                                                                                                                                                                                                                      | (H25:1 社) H28～R2 累計：2 社 | 5 年累計：3 社 |
| ①評価・意見／②課題（取り組みが遅れている理由）／③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                           |                         |           |
| <p>①企業誘致は短期間で成果が上がるものではないが、これまでの企業誘致活動が実を結び始めている。</p> <p>②東洋紡跡地については、平成 28 年に商業施設が進出したほか、福祉施設、医療機関が隣接するなど周辺環境が変化してきている。産業用地についての問い合わせは多く、<b>工場用地の確保</b>が課題。</p> <p>③市工場等誘致振興条例に基づき、雇用を伴う市内への工場等の新設、市内企業の設備投資に助成を行う。<b>地域特性を活かした企業誘致や既存企業の育成</b>を進めていく。</p> |                         |           |

### 2-2 空き店舗活用事業/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                   | (基準値)・R2 実績値             | 目標値        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                                                     | (H30:5 件) H29～R2 累計：17 件 | 5 年累計：10 件 |
| ①評価・意見／②課題（取り組みが遅れている理由）／③今後の方向性                                                                                                                                                                                         |                          |            |
| <p>①商店街に点在する空き店舗に対する改修経費や家賃補助等を行うことにより、起業しやすい環境を整備し、中心市街地内のにぎわい創出につなげている。</p> <p>②空き店舗の情報が把握できていない。（賃借の可否、所有者等）補助制度の周知が必要。</p> <p>③<b>空き店舗情報を集約</b>し、利用希望者等への情報提供に向けた調査研究を行う。専用チラシの発行や商店街等と連携した<b>情報発信機能を強化</b>していく。</p> |                          |            |

### 2-3 大町市中小企業融資制度資金/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                          | (基準値)・R2 実績値      | 目標値        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                                                            | (-) H29～R2：累計 4 件 | 5 年累計：10 件 |
| ①評価・意見／②課題（取り組みが遅れている理由）／③今後の方向性                                                                                                                                                                                                |                   |            |
| <p>①コロナ禍の影響により、地域の経済情勢が不安定となっており、新規創業に至っていないケースも見受けられる。創業支援協議会等関係機関との連携を図り、地域の実情に合わせた指導・相談を行っていく。</p> <p>②創業時には、県制度資金(信州創生推進資金)での資金繰りが大半である。コロナ禍の影響により、<b>借入してまで新規創業に踏み込めない状況</b>がある。</p> <p>③既存の制度を拡充し、創業希望者等の資金需要に対応していく。</p> |                   |            |

## 2-4 創業支援協議会による移住・定住促進事業/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                       | (基準値)・R2 実績値        | 目標値         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                         | (一) H29~R2 累計: 20 件 | 5 年累計: 10 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                             |                     |             |
| <p>①創業者数は増加傾向にあり、一定の成果がみられる。</p> <p>②相談内容は多様化しており、経営支援等を含め、専門員等の配置や対応窓口を一本化していく必要がある。塾、セミナーのマンネリ化やテレワーク需要への対応が課題である。</p> <p>③創業支援協議会との連携による塾、セミナー内容について見直しを検討する。テレワーク事業拡充に向けたニーズ調査を検討する。</p> |                     |             |

## 2-5 企業説明会(就職面接会)の開催/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                           | (基準値)・R2 実績値        | 目標値      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------|
| 参加者数※高校生対象延べ数                                                                                                                                                                    | (H30:86 人) R2:199 人 | R6: 90 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                 |                     |          |
| <p>①コロナ禍の影響により対面方式での開催は中止、管内高校と連携し、独自説明会の開催により高校生に対する就職支援は継続できた。</p> <p>②コロナ禍における開催方法、往来自粛学生への対応や学卒者の地元企業への就職率低下が課題。</p> <p>③Web 開催、動画配信サービス等の活用や小中学校等での意識改革を促す取り組みの実施を検討する。</p> |                     |          |

## 2-6 新規就農支援/農林水産課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                           | (基準値)・R2 実績値       | 目標値      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------|
| 新規就農者数                                                                                                                                                                                                                                           | (H27:2 人) R2: 11 人 | R6: 15 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                 |                    |          |
| <p>①県及び農協等の関係機関と連携し、国の制度を活用しながら、資金面及び技術面のサポートを積極的に実施できている。</p> <p>②就農希望者が、農家子弟でない場合は耕作地の確保が難しい。半農半X等を希望する移住者等に紹介できる耕作地の確保が必要。</p> <p>③農業委員会等と連携し、耕作地及び遊休農地等の情報共有を図り、就農希望者に紹介していく。認定新規就農者に対しては、農地中間管理機構を通じ、耕作地の紹介をしていく。市民農園に移住者向け区画を設け対応していく。</p> |                    |          |

## 2-7 過疎地域起業家育成支援事業/八坂支所・美麻支所

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値 |         |         | 目標値 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|-----|
| 交付件数(八坂)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | (H27: 0 件)   | R1: 0 件 | R2: 0 件 | —   |
| 交付件数(美麻)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | (H27: 2 件)   | R1: 0 件 | R2: 1 件 | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |              |         |         |     |
| <p>①(八坂) 過疎地域内の起業は、産業振興と地域活性化につながっている。</p> <p>(美麻) 起業後、事業運営に苦慮する者がおり、交付決定時の慎重な審査が必要だが、高い専門的知識も必要なことから対応に苦慮している。年度内に補助金申請者が複数いる場合、予算の範囲内で補助金額を配分し交付している。</p> <p>②(八坂) 市創業支援協議会で、起業指導を受けることが要件となっているが、1 度の指導で 3 年以上経営できるか疑問。</p> <p>(美麻) 上限 300 万円 10/10 という交付基準から補助金ありきでの起業が多い。補助金返還規定を設けたが、明確な返還基準がない。</p> <p>③(八坂) 商工労政課、八坂・美麻支所にある、起業家育成支援の関連補助事業を一本化し、専門職員が対応できる体制を整備する。(八坂)</p> <p>(八坂・美麻) 市内全域が過疎適用となることから、窓口の一元化を検討する。</p> <p>また、交付基準や返還基準についても要綱改正を検討する。</p> |              |         |         |     |

## 2-8 過疎地域就職促進奨励金/八坂支所・美麻支所

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (基準値)・R2 実績値 |       |       | 目標値 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|-------|-----|
| 交付件数(八坂)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | (H27:0件)     | R1:0件 | R2:1件 | —   |
| 交付件数(美麻)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | (H27:1件)     | R1:0件 | R2:1件 | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |       |       |     |
| <p>①(八坂) 過疎地域へ移住し、就職が増えることは、集落機能の維持と活性化につながる。<br/>(美麻) 昨年度、数年ぶりに1件の交付実績があったが、これが市内過疎地域の産業振興や過疎防止に資するとは言い難い。市過疎地域持続的発展計画の策定に合わせて本「交付金のあり方を検討」する必要がある。</p> <p>②(八坂) 地区内企業の減少とコロナ禍の影響による業績低迷により、新規求人がなく、就職につながらない。<br/>(美麻) 交付対象者の把握に苦慮している。</p> <p>③(八坂) ハローワークや地元企業と連携を取りながら、地元企業への就職につながるよう奨励金制度の周知に努める。<br/>(美麻) 既存の定住促進奨励事業のみとしても良いと考える。</p> |              |       |       |     |

## 2-9 県有料道路利用者負担軽減事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                       | (基準値)・R2 実績値 |         |         | 目標値 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|-----|
| 回数券販売冊数(50枚綴)                                                                                                                                                                | (H30:154冊)   | R1:167冊 | R2:150冊 | -   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                             |              |         |         |     |
| <p>①本市に定住しながら通勤通学通院等で日常的に白馬長野有料道路を利用する市民への負担軽減事業であり、利用者も増加傾向にあり、「転出抑制に一定の効果がある」と考える。</p> <p>②特になし</p> <p>③利用者負担が5割、市の財政負担は1割という費用対効果の高い事業であることから、白馬長野線が有料である限り、継続して取り組む。</p> |              |         |         |     |

## 3 暮らしやすさの充実

### 3-1 出産祝金事業/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                             | (基準値)・R2 実績値 |         |         | 目標値     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|---------|
| 交付件数/年                                                                                                                                                             | (H30:138件)   | R1:149件 | R2:127件 | R6:150件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                   |              |         |         |         |
| <p>①若年人口の増加と定住を促進し、地域活力の向上を図っている。出産のお祝いと出産費用負担に配慮するものであり、子育てしやすい環境を整える目的に即している。</p> <p>②「出産数の増加への成果が見えにくい」。</p> <p>③子育て関連の他の給付金等とのバランスも考え、額の見直しも必要。今後も継続が望ましい。</p> |              |         |         |         |

### 3-2 こんにちは赤ちゃん訪問事業/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                  | (基準値)・R2 実績値 |        |        | 目標値    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|--------|--------|
| 訪問実施率                                                                                                                                                                                                                                                                   | (H30:85%)    | R1:92% | R2:85% | 年間100% |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                        |              |        |        |        |
| <p>①乳児がいる家庭を全戸訪問することで、子育てに対する不安感の解消を図り、支援が必要な家庭の早期発見、関係機関へつなぐ機会となる。乳児の健全な育成環境の確保と児童虐待防止につながっている。</p> <p>②「地域とのつながりや、子育て支援に関する情報提供の場」となっており、全家庭への訪問が目標であるが、拒否する家庭もある。</p> <p>③訪問拒否家庭の子どもについては、保健師の訪問や乳幼児健診等の受診時に状況を確認している。事業の意義や趣旨を理解してもらうよう、窓口マニュアルに沿って周知をより徹底して行う。</p> |              |        |        |        |

### 3-3 ファミリーサポートセンター事業/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                               | (基準値)・R2 実績値 |         |         | 目標値  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|------|
| 利用件数/年                                                                                                                                                                                                                                               | (H30：19 件)   | R1：24 件 | R2：39 件 | 80 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                     |              |         |         |      |
| ①周知の方法等を改善検討し、提供会員数の増加に努める。<br>②協力会員が少ないので、希望に添えない場合がある。利用開始されるまでに時間を要し、すぐに利用できない。会員の中に、コロナ感染に不安を感じサポートを控えているケースがある。<br>③協力会員の現状調査を行い、実施可能なサービスを明確化する。新規協力会員の募集を継続する。スキルアップできる講習会や、相談会等を開催し安心してサポートできるようにする。コロナウイルス感染症対策のチェックシートを作成し、会員向けに情報を発信していく。 |              |         |         |      |

### 3-4 定住奨励事業 育児家庭応援事業(地域商品券贈呈)/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                       | (基準値)・R2 実績値 |          |          | 目標値 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|----------|-----|
| 交付件数/年                                                                                                                                                                                                                                       | (H30：156 件)  | R1：153 件 | R2：144 件 | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                             |              |          |          |     |
| ①子育て世帯の経済的支援と、定住促進を目的に実施しており、一定の効果が見込まれる。<br>②保育無償化が開始された当時とは状況が変わってきており、出産時の「出産祝金」、「入学祝い」商品券支給など年代別に支給する制度があるなど、子育て世代への経済的支援を考えると支給時期の見直しが必要である。<br>③子育て世帯の経済的支援と、地域で子育てを応援する機運の醸成という目的をもった市独自の子育て支援事業として継続していくためには、事業効果を検討し、他事業との統廃合を検討する。 |              |          |          |     |

### 3-5 子育て支援ショートステイ事業/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                  | (基準値)・R2 実績値 |         |         | 目標値  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|------|
| 利用件数/年                                                                                                                                                                                                                                                                                  | (H30：21 件)   | R1：25 件 | R2：12 件 | 20 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                        |              |         |         |      |
| ①児童養護施設等の複数施設に委託し、順調に実施できている。宿泊を伴うなど専門性の高い事業であるが、中信地区でも先駆けて市内里親へ新たに委託したほか、施設にも安心して受託してもらえるよう取り組んでいる。地域の様々な要因に加え、コロナ禍もあり、 <b>利用ニーズは増加していく</b> ことが見込まれる。<br>②国の要件を満たす養育里親の登録者数の拡大。<br>③養育里親の登録数を増やすことで事業委託先拡大を図り、養育環境の充実につなげていく。国の要件に準じ、令和3年度から委託可能となった養育里親の登録者を増やすことで、利便性向上を図り、継続的に取り組む。 |              |         |         |      |

### 3-6 病児保育事業/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                            | (基準値)・R2 実績値            | 目標値           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------|
| 開設場所                                                                                                                                              | (一) R2:1 か所(利用登録者 57 名) | 令和2 年度中に 1 か所 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                  |                         |               |
| ①北アルプス自立圏事業として、令和2 年 10 月から、大町病院内で開設。子どもを産み育てやすい環境を整えることは、 <b>若年人口の増加と定住促進に資する</b> ものとして実施している。<br>②利用率の向上<br>③圏域町村と連携し、周知を図る。利用者の声を聞き、事業内容を検討する。 |                         |               |

### 3-7 放課後児童クラブ/子育て支援課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (基準値)・R2 実績値 |          |           | 目標値   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|-----------|-------|
| 登録数/年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | (H30: 400 人) | R1:410 人 | R2: 317 人 | 410 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |          |           |       |
| <p>①放課後児童の居場所(生活の場)が確保され、保護者の就労支援と子育て支援に寄与している。</p> <p>②共働き世帯の増加等により利用の需要が高まっていることや、特性を持つ子どもへの対応のため配置職員の増員が必要となる中で支援員の確保が困難で、事業拡大(時間延長等)が難しい状況。R2から支援員報酬の見直しを行い、募集を行っているが応募者が少ない。(代替職員で対応)運営体制・雇用体系、待遇面などについて検討が必要。</p> <p>③発達特性を持つ児童への対応など支援員の資質向上やICT化への取り組み等、保護者及び児童がより安心して利用できるよう、クラブの質向上を検討していく。(開所時間の拡大、保護者の費用負担の在り方、運営体制等について検討を継続)</p> |              |          |           |       |

### 3-8 妊娠・出産・育児支援事業/市民課

| 事業数値目標等                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |  |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 育児不安を抱える保護者の減少                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |  |  |  |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |  |  |  |
| <p>①コロナ禍においてワクチン接種は進んでいるものの、先が見通せない状況にある。妊産婦は、感染拡大地域との往来制限により家族の支援が得られ難く、出産・育児に対する不安感が高まっている。また、相談相手がおらず、育児の孤立化が見られる状態である。</p> <p>②里帰り出産や親の支援を得ることが難しいことから、育児の孤立化が見られる。</p> <p>③コロナ禍により増大した妊産婦の出産・育児に対する不安を軽減するため、妊娠届提出時の初回面接の実施や子育て世代包括支援センターを中心とした相談体制を強化、継続する。産後ケアの充実(通所の新規開始)を図り、妊産婦の移動支援を実施し、孤立感の解消をめざす。</p> |  |  |  |  |

### 3-9 子ども医療費助成/市民課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                    | 基準値 | 目標値 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| —                                                                                                                                                                                                                         |     |     |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                          |     |     |
| <p>①市民ニーズが高く、子育て世代への支援に寄与する事業。母子家庭等所得の低い方も、安心して医療を受けられる環境が整備できている。R2年度から子ども医療費を18歳到達年齢まで拡大した。</p> <p>②R2年度は、受診控えから事業費が減少した。今後の給付額の動向を注視していく。</p> <p>③年齢拡大後の給付状況の分析を行い、コンビ二受診などの影響により給付額の大幅な増額がある場合は、適正受診を促す広報などを実施する。</p> |     |     |

### 3-10 特定健康診査の無料受診/市民課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (基準値)・R2 実績値                                      | 目標値               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------|
| 受診率                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | (【H30】国保:48.9%・後期:13.4%)<br>【R2】国保:45.4%・後期:15.8% | 【R5】国保:60%・後期 20% |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                   |                   |
| <p>①(後期高齢者健診事業)生活習慣病予防等により自立した生活を送る高齢者を支援し、医療費適正化の観点からも重要な事業である。市民ニーズが高い。</p> <p>(特定健診・保健指導事業)保健指導を実施し、生活習慣の改善を促すことで生活習慣病の予防と重症化を防ぎ、医療費の適正化と被保険者の健康増進に寄与する。</p> <p>②(後期高齢者健診事業)担当保健師等の不足から必要な人全てに指導ができていない状況である。</p> <p>(特定健診・保健指導事業)受診率の向上。特に40・50代の受診率が低い。</p> <p>③(後期高齢者健診事業)R3年度から関係機関との連携による「保健事業・介護要望の一体化実施」がスタートした。必要に応じてかかりつけ医や医療機関等との連携を図る。</p> <p>(特定健診・保健指導事業)受診率向上のため、40歳になる被保険者に、最初の特定健診を受けてもらう動機づけを目的として、地域商品券を交付する予定。</p> |                                                   |                   |

### 3-11 県民交通災害共済加入公費負担/市民課

| 事業数値項目                                                                                                                                                            | (基準値)・R2 実績値   |             |             | 目標値 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------|-------------|-----|
| 助成件数                                                                                                                                                              | (H30: 3,028 件) | R1: 2,901 件 | R2: 2,807 件 | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                  |                |             |             |     |
| ①公費負担による県民交通災害共済加入は、全ての子どもが加入し、交通事故にあった場合には、医療費等の保護者の負担を軽減でき、 <b>安全で安心な生活につながっている</b> 。<br>②特になし<br>③全ての子どもが安心安全した生活を送れるよう、交通事故の場合に備え、公費負担による県民交通災害共済加入を継続して実施する。 |                |             |             |     |

### 3-12 北アルプス連携自立圏による地域力の向上と経済・生活圏の形成/福祉課

| 事業数値項目                                                                                   | (基準値)・R2 実績値 | 目標値     |
|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|
| 成年後見受任件数                                                                                 | (一) R2: 24 件 | R3:20 件 |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                         |              |         |
| ①日常生活や財産管理等に支障がある方々の権利を守る重要な手段となっている。高齢化率の進展に伴い認知症の方が増えていくことも予測される中、本人の権利を守るため事業の必要性は高い。 |              |         |
| ②任意後見制度（判断動力がある方が将来に備え後見人を選任する制度）の普及啓発が課題。                                               |              |         |
| ③国が求める権利擁護支援の地域連携ネットワーク（中核機関・協議会の設置）体制を整備し、相談支援の充実、制度の普及、利用促進について推進する。                   |              |         |

### 3-13 市民バス運行事業/情報交通課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                       | (基準値)・R2 実績値   |                           | 目標値          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------|--------------|
| 利用者数                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (H27:87,125 人) | R1: 79,303 人、R2: 64,338 人 | R3: 88,000 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                             |                |                           |              |
| ①高齢者をはじめ障がいのある方などの <b>市民生活を支える公共交通手段</b> として、事業の必要性は高い。高齢化による運転困難者が増加していくと想定され、市民バスの必要性は今後更に高まる。<br>②平成12年の運行開始以来、毎年運行ルートやダイヤの見直しを行い、利便性の向上を図ってきたが、人口減少にも起因し利用者の大幅な増加は厳しい状況。<br>③R2年度から常盤東地区で、デマンド方式による運行を開始した。更なる定着化と他地域への拡大を図るため、広報、意見聴取、検証を行う。 <b>地域の実情に応じた効果的かつ効率的な運行形態</b> を引き続き検討していく。 |                |                           |              |

### 3-14 公共交通対策事業/情報交通課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | (基準値)・R2 実績値 | 目標値 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |              |     |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |              |     |
| <p>①大系線は、地域住民の利用のみならず、観光業や商工業など沿線地域にとって、極めて重要な路線である。特急バス長野大町線についても、地域住民の利用をはじめ、北陸新幹線開業後、観光利用等<b>地域経済の振興に大きな役割</b>を果たしている。</p> <p>②特急バス長野大町線は、協議会が運行依頼をしている冬期は、夏期に比べて便数が少ないことやアルペンルートが閉鎖期間中であることなどから利用者数は減少傾向にある。特に昨年度は、コロナ禍の影響から、夏期・冬期ともに利用者が減少した。</p> <p>③持続的な地域間交通の維持を図るため、大系線・特急バス長野大町線両線ともに関係機関と連携しながら、<b>利用促進</b>を図る。また、<b>利用者の利便性の向上</b>を図るため事業者への要望活動を行う。</p> |              |     |

### 3-15 消防団及び自主防災組織等を中心とした地域防災力の強化/消防防災課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値        | 目標値      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------|
| 女性消防団員数                                                                                                                                                                                                                                                                                             | (H28:34 人) R2: 31 人 | R6: 50 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                    |                     |          |
| <p>①消防団は、地域防災力の中核的な存在であり、市民の安心安全を守る重要な組織。消防団活動を通じて地域との連携を密にすることは、地域防災力の向上と災害時の迅速な対応につながる。</p> <p>②団員の確保は、女性に限らず、年々厳しさを増している。定年制撤廃や機能別団員制度の創設、また、様々な場面で積極的に加入促進に努めているが、思ったような成果に結びつかない。</p> <p>③今後も人口減少や市外への通勤者が増加するなど、団員確保の厳しい状況は続くと思われるが、企業の経営者、各種団体等に理解いただき、団員確保に向けて周知広報を図り、安定的な消防団活動の推進に努める。</p> |                     |          |

### 3-16 防災士の育成/消防防災課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | (基準値)・R2 実績値                 | 目標値      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------|
| 防災士の人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | (R1: 12 人) R1: 12 人、R2: 13 人 | R6: 30 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                              |          |
| <p>①防災士は自主防災のリーダー的存在であり、平常時の防災意識の啓発、自助・共助活動の訓練、災害時における被災者支援など、地域住民と一体となった活動により、地域防災力の向上に寄与する。</p> <p>②防災士の資格は、民間検定(資格)ということもあり、防災に関する意識が高い方や知識を深めたい方以外の受講が少ない。県内の防災士養成研修実施機関は、松本大学(松本市)のみで、受講人数に限りがあることから受講できないケースもある。</p> <p>③令和3年度に、自主防災会連絡会に防災士専門部会を組織し、活動しやすい体制を整備した。今後は、自主防災会や専門部会との連携により、市民の防災意識を強化し、防災士資格取得者の増加を目指す。</p> |                              |          |

### 3-17 市道除排雪/建設課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (基準値)・R2 実績値               | 目標値      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------|
| 業者への除雪ドーザ貸与台数                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | (H27:18 台) R1:26 台、R2:28 台 | R3: 22 台 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                              |                            |          |
| <p>①排雪や路面の凍結防止は、安全な冬期道路交通確保に不可欠。場合によっては除雪を行わず冬期に通行不能とする区間を設けることも考えられる。</p> <p>②作業員の高齢化が進み、オペレーターの確保が難しい。近年の暖冬による業務の大幅な減少に加え、機械の老朽化による維持経費等の負担増加など、今後の除雪業務の継続とともに、安全な交通環境の確保に深刻な影響が懸念される。</p> <p>③除雪を委託する建設業者の厳しい経営状況から、除雪計画に沿ったより低コストで事業効果を上げる体制を建設業組合等と検討していく。除雪基準や路線の見直しにより除雪規模の縮小化を図る。最低補償制度等の導入を検討する。</p> |                            |          |

### 3-18 定住奨励事業 入学お祝い(地域商品券贈呈)/学校教育課

| 事業数値項目                                                                            | (基準値)・R2 実績値                     | 目標値 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|
| 交付件数                                                                              | (H27: 207 件) R1: 139 件 R2: 139 件 | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                  |                                  |     |
| <p>①就学時に要する費用負担の軽減につながっている。</p> <p>②—</p> <p>③引き続き、子育て世帯を応援するとともに、市内の消費喚起を図る。</p> |                                  |     |

### 3-19 学校給食費助成/学校教育課 ※令和元年度からの給食費公会計化により補助金なし

| 事業数値項目                                                                                                     | (基準値)・R2 実績値 | 目標値  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------|
| 学校給食における市内産使用食品数<br>(1校1日あたり)                                                                              | (一) R2: 3.4% | 4.0% |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                           |              |      |
| ①各校に栄養教諭又は栄養士が配置され、学校給食摂取基準に基づいた栄養バランスのよい安心で全<br>な自校給食を実施している。地元農産物等を流通させることで、食育を推進し、地域経済の活性化に<br>つながっている。 |              |      |
| ② -                                                                                                        |              |      |
| ③地域食材だけを使った給食、「大町を味わう日」による地産地消の食育を推進する。                                                                    |              |      |

### 3-20 家庭教育支援の推進/生涯学習課

| 事業数値項目                                                                              | (基準値)・R2 実績値       | 目標値     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------|
| 親子教室実施公民館数                                                                          | (H28: 6 館) R2: 6 館 | R3: 6 館 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                    |                    |         |
| ①参加者ニーズは高く、地区ごとに特徴を活かした運営ができています。                                                   |                    |         |
| ②少子化による参加者減少が課題。複数地区の合同開催も検討する。                                                     |                    |         |
| ③引き続き、保育園や地域との連携により開催し、親子のふれあいや交流の促進を図るとともに、育<br>児相談や集団生活体験等を行うなど、家庭教育支援・育児サポートを行う。 |                    |         |

### 3-21 学校・家庭・地域の幅広い連携による学習支援/生涯学習課

| 事業数値項目                                                         | (基準値)・R2 実績値 | 目標値        |
|----------------------------------------------------------------|--------------|------------|
| 学習支援活動実施施設                                                     | (一) R2: 3 施設 | R3: 1 施設以上 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                               |              |            |
| ①ものづくりや野外体験教室等への関心が高まっている。                                     |              |            |
| ②学校再編に合わせた調整(指導員等の人材確保、会場確保等)が今後必要である。                         |              |            |
| ③コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みの中で、子どもたちの居場所づく<br>りや学習支援の充実を図る。 |              |            |

### 3-22 家庭や地域、関係機関の連携強化・身近な地域で子どもを育てる環境の整備 /生涯学習課

| 事業数値項目                                                                     | (基準値)・R2 実績値         | 目標値       |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------|
| 家庭教育懇談会開催会場数                                                               | (H28: 6 会場) R2: 3 会場 | R3: 10 会場 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                           |                      |           |
| ①少子高齢化や核家族化など急激な社会変化の中、地域全体で子ども達を育てる重要性が高まってい<br>る。                        |                      |           |
| ②少子化により参加者が減少している。                                                         |                      |           |
| ③引き続き、地域の子どもたちや家庭状況等の実態や課題のほか、大人たちの関わり方についての情<br>報共有や意見交換を行い、家庭教育支援の充実を図る。 |                      |           |

### 3-23 周産期医療の充実/大町病院

| 事業数値項目                                                                                                                             | (基準値)・R2 実績値                 | 目標値         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------|
| 分娩取り扱い件数                                                                                                                           | (H27: 33 件) H28~R2 累計: 444 件 | 5 年累計 450 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                   |                              |             |
| ①定住促進の観点からも安心して出産、育児ができる環境づくりは重要であることから、 <b>産科診療再<br/>開は喫緊の課題</b> の一つである。大北医療圏唯一の周産期医療拠点病院として、産科に関する地域の二<br>ーズを把握し、適切な医療サービスを推進する。 |                              |             |
| ②非常勤医師1名体制となったため、令和2年11月から産科診療を休止している。依然として <b>産婦<br/>人科医師の確保は厳しい</b> 状況である。⇒産科診療再開                                                |                              |             |
| ③引き続き県等関係機関の支援を受けながら産科医師の確保に努めるとともに、医師紹介会社に求人<br>登録をするなど積極的なリクルート活動を実施し、早期の産科診療再開を目指す。                                             |                              |             |

### 3-24 小児医療の充実/大町病院

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値 |                         | 目標値             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------|-----------------|
| 外来患者数/年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | (H27:7000 人) | R1: 7,574 人、R2: 5,465 人 | 5 年累計: 35,000 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |              |                         |                 |
| <p>①地域に専門的な小児診療体制が整備されていることは、子育て世代の移住、定住希望者にとって大きなメリットである。発達障がい児だけでなく<b>子どもの心のケアの必要性が高まっております</b>、臨床心理士による相談支援を継続して行う。</p> <p>②通常診療に加え発達障がい児等への相談・支援、病児保育も開始し、安心して子育てができる環境整備を進めているが、コロナ禍の受診控えにより、小児科患者数が激減している。過剰な受診控えが起こると病気の早期発見が遅れること等が懸念される。</p> <p>③現在の施策は継続し、感染症蔓延下でも安心して受診できる環境や体制を再評価したうえで、広報等により住民に周知し、安全安心な受診を促していく。</p> |              |                         |                 |

### 3-25 大町市ひとが輝くまちづくり事業補助金/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                            | (基準値)・R2 実績値 |           | 目標値       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------|-----------|
| 申請団体数                                                                                                                                                                                                                                             | (H30: 16 団体) | R2: 13 団体 | R6: 13 団体 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                  |              |           |           |
| <p>①公益性の高いまちづくり事業を行う市民活動団体を支援することで、団体の活性化及び魅力ある地域づくりの推進が図られる。</p> <p>②補助金申請に慣れていない団体も多くあるため、<b>活用しやすい事業枠を周知し申請につながるよう支援が必要</b>。コロナ禍により活動が停滞している。</p> <p>③申請団体の活動を広く知ってもらえるよう情報を発信し、多くの団体に制度を知ってもらい、補助金を活用し活動が広がるよう、また、コロナ禍でも活動が継続できるよう支援していく。</p> |              |           |           |

### 3-26 自治会等地域コミュニティ活動の強化/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                          | (基準値)・R2 実績値 |           | 目標値     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------|---------|
| 自治会加入率                                                                                                                                                                                                                          | (H30: 75%)   | R2: 72.5% | R6: 78% |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                |              |           |         |
| <p>①自治会は「市民参加と協働のまちづくり」の推進や、<b>災害時の対応などに重要な役割の担い手</b>であるため、組織力の強化などに向け継続して支援を行っている。</p> <p>②自治会への新規加入世帯がある一方で、<b>高齢により役員を担えないなどの理由により脱退</b>世帯が増えている。</p> <p>③連合自治会と連携し自治会の重要性や活動の楽しさを伝え自治会離れを食い止める。各自治会において役員等の見直しを検討してもらう。</p> |              |           |         |

### 3-27・28・29 定住奨励事業 UI ターン促進・新婚生活応援(地域商品券贈呈)

#### /まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                               | (基準値)・R2 実績値 |              |               |             | 目標値       |               |                |              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|---------------|-------------|-----------|---------------|----------------|--------------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                 | H28-R2 計     | Uターン<br>80 件 | Iターン<br>203 件 | 新婚<br>221 件 | 5 年<br>累計 | Uターン<br>100 件 | Iターン:<br>200 件 | 新婚:<br>225 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                     |              |              |               |             |           |               |                |              |
| <p>①UIターン者の定住促進と新婚世帯に対する転出抑制及び地域経済の活性化に資するものとして一定の効果があると捉えている。商品券の使用率も高く、地域経済活性化につながっている。</p> <p>② —</p> <p>③UIターン及び婚姻後の定住奨励として行っており、また、コロナ禍の影響を受ける市内事業所の経済活性化につながっていることから、継続する。</p> |              |              |               |             |           |               |                |              |

### 3-30 移住奨励事業 就業者移住支援金制度/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (基準値)・R2 実績値 |       | 目標値      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|----------|
| 交付件数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | R1：0件        | R2：1件 | 5年累計：10件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |       |          |
| <p>①要件が多岐にわたるため、移住後の生活設計を十分に検討して移住した方には<b>意義の大きい支援</b>である。市の財政負担が1/4という点においても費用対効果の高い事業。ただし、支援金を期待するあまり、要件等の理解不足により該当しなかった時などはクレームにつながる恐れがある。</p> <p>②R3から要件緩和。制度には時限があるうえ、移住した時期によって要件に違いがあるため案内が煩雑になるとともに、移住者が不公平さを感じることも危惧される。</p> <p>③有意義に活用いただけるよう県と連携して<b>丁寧な案内</b>に努める。最大で100万円という額面の大きさも魅力であり、財源的にも有利であることから継続したい。</p> |              |       |          |

## 4 地域の魅力発信と「ひと」と「ひと」の交流促進

### 4-1 信濃大町サポーター事業/商工労政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                    | (基準値)・R2 実績値 |              | 目標値       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|-----------|
| 登録者数                                                                                                                                                                                                                                                                      | (H30:31人)    | H29~R2：累計40人 | 5年累計：100人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |           |
| <p>①信濃大町のイメージ向上は着実に図られているが、成果指標は目標値に達していない。令和3年度からはSDGs共創推進係に所管が変更となったが、連携を図り、改訂される信濃大町ブランド戦略に基づき事業を実施する。新型コロナウイルス感染状況により、募集・参加要請を行う。</p> <p>②登録数は40人。現在はコロナ禍の影響によりイベント等が中止となっており、活動はない。</p> <p>③関東方面での物販、おおまびょん出演のイベント等でアシスタントとして依頼しているが、今後は<b>関東方面に限らない登録を検討</b>する。</p> |              |              |           |

### 4-2 地域ブランド調査における認知度順位向上/企画財政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                           | (基準値)・R2 実績値 |        | 目標値    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|--------|
| 順位                                                                                                                                                                                                               | (R1：13位)     | R2：14位 | R6：10位 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                 |              |        |        |
| <p>①みずのわプロジェクトとの連携、特産品の販路拡大、ゆるキャラを活用した広報活動により市のブランド力向上を目指している。</p> <p>②全国的な知名度を上げるため、市自体の魅力をPRし、観光・移住・ブランド等の<b>総合的なシティプロモーション</b>をいかに展開していくかが課題。</p> <p>③<b>信濃おおまちみずのわプロジェクト等と連携し</b>、信濃大町ブランド戦略に基づく事業を推進する。</p> |              |        |        |

### 4-3 地域ブランド調査における魅力度順位向上/企画財政課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                  | (基準値)・R2 実績値 |        | 目標値   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|-------|
| 順位                                                                                                                                                                                                      | (R1：9位)      | R2：14位 | R6：8位 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                        |              |        |       |
| <p>①みずのわプロジェクトとの連携、特産品の販路拡大、ゆるキャラを活用した広報活動により市のブランド力向上を目指している。</p> <p>②全国的な知名度を上げるため、市自体の魅力をPRし、観光・移住・ブランド等の総合的なシティプロモーションをいかに展開していくかが課題。</p> <p>③<b>信濃大町みずのわプロジェクト等と連携し</b>、信濃大町ブランド戦略に基づく事業を推進する。</p> |              |        |       |

#### 4-4【地域に根差した学校づくりの推進】コミュニティ・スクールの推進/学校教育課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値 |        | 目標値      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|----------|
| コミュニティ・スクールの推進                                                                                                                                                                                                                                                                      | (H28: 5校)    | R2: 9校 | 9校(100%) |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                    |              |        |          |
| <p>①全小中学校において、文科省型コミュニティ・スクールへ移行してした。学校運営に地域社会の参画を得ながら、地域に根付いたコミュニティ・スクールの一層の推進と地域とのつながりを持つことができている。各校において特色ある学校運営の取り組みが進められており、授業の変化により子どもたちの応用力、表現力、人間関係力が高まってきている。</p> <p>②学校ボランティアなどへの参加者を除き、地域全体への浸透がまだ充分ではない。</p> <p>③コーディネーターの資質向上のための研修を行うとともに、今後も「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p> |              |        |          |

#### 4-5【地域に根差した学校づくりの推進】小中一貫教育の推進/学校教育課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                | (基準値)・R2 実績値 |   | 目標値 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|-----|
| —                                                                                                                                                                                                                                                     | —            | — | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                      |              |   |     |
| <p>①小中一貫校における教育方針や山間地域の特性を踏まえた特色ある学校づくりは移住者への魅力に寄与している。9年間の教育課程の編成は、小学校/中学校の教職員間で学校運営に伴う目標や課題などを共通認識することができることから、中1ギャップの解消やいじめ不登校などにきめ細かな対応を継続して行うことができるものと評価している。</p> <p>② —</p> <p>③特色ある小中一貫校の学校運営を継続し、学習面や児童生徒指導面のきめ細かな対応に努め、コミュニティ・スクールの推進する。</p> |              |   |     |

#### 4-6【地域に根差した学校づくりの推進】ふるさと教育・特色ある学校教育の推進/学校教育課

| 事業数値目標                                                                                                                                                                                         |  |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 市内9校 年2,000千円の補助金交付                                                                                                                                                                            |  |  |  |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                               |  |  |  |
| <p>①小学校の農業や伝統文化体験活動や中学校の地域ボランティア体験活動を通じた地域への理解と愛着を深める教育とともにキャリア教育を推進している。各学校に応じた特色ある学校づくりが進められており、移住地の選定要因に寄与している。</p> <p>② —</p> <p>③地域の特性を活かした体験学習や郷土愛を育む学習を通して、地域と共に生きる児童生徒の育成をさらに推進する。</p> |  |  |  |

#### 4-7【地域に根差した学校づくりの推進】小規模特認校制度の活用/学校教育課

| 事業数値項目                                                                                                                                                      | (基準値)・R2 実績値 |   | 目標値 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---|-----|
| —                                                                                                                                                           | —            | — | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                            |              |   |     |
| <p>①特認校制度を活用した特色ある学校づくりを進める中で、区域外から通学する子ども達を交え、多様な環境の中で人間性が育まれるなど、教育的な効果は高い。</p> <p>② —</p> <p>③小規模学校としての特色を活かし、少人数学習によるきめ細かな指導を受けられる魅力ある学校づくりをさらに推進する。</p> |              |   |     |

#### 4-8【地域に根差した学校づくりの推進】中高連携教育の推進/学校教育課

| 事業数値目標                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| H28 年度大町岳陽高校入学者の 50%以上が市内中学校の卒業生／ R2 年度実績：39%                                                                                                                                                |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                                                                                                                             |
| ①大町岳陽高校と連携し、きめ細かな学習支援と積極的な進路指導に努め、キャリア教育を推進している。中 3 の体験入学や県教委との協定による教員の人事交流も実施しており、魅力ある学校づくりにつながっている。<br>②中高連携を推進するための教員の確保が難しい。<br>③キャリア教育や ICT 教育の推進、プログラミング学習などの分野で連携を進め、中高連携の充実をさらに推進する。 |

#### 4-9【地域に根差した学校づくりの推進】給付型奨学金の給付/学校教育課

| 事業数値目標                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年度中に 3 人程度の認定を想定／<br>R2 実績：①新規（一般奨 1 件）②継続（一般 1 件、特別 2 件）③償還 6 件                                                                                                                                                                                       |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                       |
| ①成績優秀にも拘わらず経済的理由により修学をあきらめることなく進学につながっている。特別奨学金制度は定住対策の役割を果たしている。<br>②日本学生支援機構や、大学独自の奨学金制度の利用は増加傾向にある。本市では 29 年度から貸与型の奨学金制度に加え、特別奨学金制度の運用を始めるなどの制度の拡充を図っているが、活用実績に伸び悩みがある。<br>③本市の制度は比較的小額を希望する者には、無利息の制度であるので利用しやすいと考え、さらに制度周知を図る。利用基準についての見直し等を検討する。 |

#### 4-10 郷土学習の充実と交流の促進/生涯学習課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | (基準値)・R2 実績値 |          | 目標値      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|----------|
| 山村留学の生徒数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (H26：28 人)   | R2：32 人  | R6：32 人  |
| 文化財めぐり開催数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | (H27：8 回)    | R2：5 回   | R3：12 回  |
| 文化財めぐり参加者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | (H27：408 人)  | R2：123 人 | R3：500 人 |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |          |          |
| ①【山村留学】児童・生徒数が増加し複式学級の回避など学校の維持、発展につながっている。地元農家へのホームステイや地域の行事への参加により地域の活性化に寄与している。<br>【文化財めぐり】地域の歴史・文化・自然の魅力発信は、地域観光の振興を図るとともに地域の良さを再発見し、郷土への愛着や誇りの醸成につながっている。<br>②【山村留学】高齢化などにより受入農家の確保が課題である。コロナ禍において、保護者と地域や学校との交流等において制限や制約がある。<br>【文化財めぐり】コロナ禍において、不特定多数や県外からの参加者が見込まれる自然観察会は中止とした。<br>③【山村留学】受入農家の確保に向けて検討を進める。<br>【文化財めぐり】現地学習の継続や公民館との共催等により充実を図る。 |              |          |          |

#### 4-11 スポーツ合宿などの誘致事業/スポーツ課

| 事業数値項目                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値 |         |        | 目標値     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|--------|---------|
| 利用件数                                                                                                                                                                | (H30：20 件)   | R1：18 件 | R2：0 件 | R6：30 件 |
| ①評価・意見/②課題（取り組みが遅れている理由）/③今後の方向性                                                                                                                                    |              |         |        |         |
| ①合宿の予約はされるが、新型コロナウイルス感染症の状況により殆どの予約がキャンセルとなっている。今後の状況によるが、例年同等数の予約は見込める。<br>②合宿期間が集中し、施設利用の調整が必要である。<br>③旅行者や宿泊業者と協力しながら、スポーツ合宿での利用を促進するための PR 活動を観光部局等と連携しながら推進する。 |              |         |        |         |

#### 4-12 アーティスト・イン・レジデンス事業及び北アルプス国際芸術祭の開催

##### /まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | (基準値)・R2 実績値    | 目標値          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|
| 来場者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | (H29: 42,000 人) | R5: 50,000 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                 |              |
| <p>①AIRは、海外作家との交流もスムーズに行えるようになり、今後は<b>地元作家や市民との交流</b>をより深め定着を図っていく。芸術祭は、国内外での評価は上がっており、様々な分野の一流の方々に協力いただける状況。企業協賛は増える一方で、市民の間でこれらの価値や状況について共有できておらず、事務局の情報提供が不足していると認識している。</p> <p>②事業の内容や意義、現在の状況、国内外からの評価などをより細やかに市民に伝えることが課題。また、コロナ禍から新たな生活様式を取り入れた楽しみ方の工夫が求められている。</p> <p>③AIR、芸術祭ともに、新たな取り組み方、運営方法などに工夫を施そうと検討を始めている。誘客宣伝は、コロナ禍を踏まえ、近距離国内から重点的に行っていく必要がある。</p> |                 |              |

#### 4-13 まちづくり活動の情報収集と発信/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                         | (基準値)・R2 実績値 | 目標値 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| —                                                                                                                                                                              | —            | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                               |              |     |
| <p>①登録団体のイベント等を市ホームページやフェイスブックで発信するなど活動を支援している。</p> <p>②講座や補助金などの情報をメールなどで発信しているが、団体の代表者等以外に伝わらないケースがあり、団体内での会員への情報提供が課題。</p> <p>③メールや文書だけでなくSNSを活用し、多くの人が情報を得られるよう体制を整える。</p> |              |     |

#### 4-14 男女共同参画社会推進事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                      | (基準値)・R2 実績値        | 目標値       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------|
| 参加人数                                                                                                                        | (H30: 313 人) R2: -人 | R4: 800 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                            |                     |           |
| <p>①男女共同参画社会の推進のため、<b>継続した啓発活動が必要</b>である。</p> <p>②各種審議会等の委員や自治会役員など女性の参画が進んでいない。</p> <p>③女性リーダーを育成し、女性の意識を変えていく取組みを進める。</p> |                     |           |

#### 4-15 移住促進事業 都市部移住セミナーの開催/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                               | (基準値)・R2 実績値              | 目標値         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------------|
| 移住セミナー開催数                                                                                                                                                                                                                                                            | H30: 17 回 H28~R2 累計: 84 回 | 5 年累計: 75 回 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                     |                           |             |
| <p>①移住検討者への市の魅力、豊かな自然のもとでの暮らしに対するPR、情報発信を行う。セミナーへの参加者には検討度の高い方が多く、ここでの出会いが<b>移住実現を後押しするケースも多い</b>。</p> <p>②コロナ禍により都市圏での対面開催が見込めない状況に苦慮している。オンライン開催は都市圏域外の方が気軽に参加できるメリットもあるが、つながりが希薄になる傾向がある。</p> <p>③オンライン開催は継続しながら、コロナ禍へ配慮したうえで東京圏及び関西方面におけるセミナー・フェア等への出展を再開する。</p> |                           |             |

#### 4-16 魅力体験ツアー事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                    | (基準値)・R2 実績値                 | 目標値          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------|
| ツアー参加者数                                                                                                                                                                                                   | (H30: 31 人) H28~R2 累計: 170 人 | 5 年累計: 175 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                          |                              |              |
| <p>①移住検討者に参加を呼びかけ、現地で大町市を体感してもらい、先輩移住者やアドバイザーに体験談等を直接聞きながら<b>具体的にイメージしてもらう有用な機会</b>となっている。</p> <p>②民間業者や地域住民との協働をどう図るかが課題。</p> <p>③民間業者の協力を得ながら、体験メニューや地域住民を巻き込んだツアーメニューを研究し、より具体的に移住を検討してもらえるよう推進する。</p> |                              |              |

#### 4-17 地域の魅力情報発信事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                        | (基準値)・R2 実績値 | 目標値 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| —                                                                                                                                                                                             | —            | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                              |              |     |
| <p>①市定住促進協働会議において各メディアに移住PR記事の掲載やアウトドアが近い暮らしの提案を行っている。また、移住情報総合サイトの運営やSNS活用などオンラインによる情報発信を行っている。</p> <p>②ポータルサイトやSNS上の情報をいかに多くの方に見てもらえるか。知名度の向上。</p> <p>③今後もシティブロモーションを推進し、関係人口の創出、拡大を図る。</p> |              |     |

#### 4-18 定住促進アドバイザー事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | (基準値)・R2 実績値                | 目標値         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------|
| アドバイザー相談件数                                                                                                                                                                                                                                                                                                | (H30:99 件) H28~R2 累計: 259 件 | 5 年累計:450 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                          |                             |             |
| <p>①移住相談の中でも農林業や起業など、仕事に関する相談が多い。また、子育て世代に向けた案内役や地域住民とのパイプ役として活躍いただいている。相談者にとってアドバイザーとの関わりが移住の後押しとなる事例も多い。</p> <p>②現在は職種や年代、定住歴等、バランスよく得意な分野で活躍いただけている。</p> <p>③移住検討者が先輩移住者であるアドバイザーに疑問や不安を聞いてもらえることで移住後の暮らしをイメージするなどのほか、地元の人とのつながりを感じてもらうことが重要。行政と役割分担をしながら、地域と地域住民を「つなぐ」ことを担ってもらえる重要なポストとして今後も継続する。</p> |                             |             |

#### 4-19 お試し暮らし体験事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | (基準値)・R2 実績値               | 目標値          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------|
| 利用件数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (H30:31 件) H28~R2 累計:146 件 | 5 年累計: 150 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                            |              |
| <p>①短期又は中期で滞在可能な「大町暮らし」の体験は、移住検討をより深める場合や、移住を決め、住居探しや地域住民との交流、仕事探しなど具体的な生活設計を立てる場合の利用として、大変有意義であると捉える。昨年度来、コロナ禍の影響により受入れを断る事例が多かった。</p> <p>②現在、美麻クラインガルテンを利用しているが、まちなかに遠く、地理的なことや交通の面で不便であるという声がある。令和3年度からまちなか暮らし体験ができるよう、駅周辺の宿泊施設を利用する受入体制を整えたが、利用者アンケート等からは戸建施設への要望が強い。</p> <p>③まちなか暮らし体験を利用してもらうよう、移住検討度の高い方を積極的に呼び込めるよう案内に努める。空き家の活用の観点からも、まちなかに戸建の体験施設の確保について検討する。</p> |                            |              |

#### 4-20 Uターン促進事業 市出身者や若者への情報発信事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                                         | 基準値 | 目標値 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| —                                                                                                                                                                                                                                                              | —   | —   |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                               |     |     |
| <p>①Twitter や LINE といった SNS や移住情報総合サイト等、WEB を通じた情報発信は、大町市に興味を示してくれている方などにダイレクトに情報を届ける重要なツールとなっている。情報の更新に努め、タイムリーな情報発信ができています。</p> <p>②市出身者や進学等で大町市を離れた若者に途切れることのない情報発信の仕組みを検討する必要があります。</p> <p>③「ネット関係人口」の構築と拡大に努め、ふるさと大町市の魅力や情報を身近に感じてもらうよう途切れない情報発信に努める。</p> |     |     |

#### 4-21 移住者交流会事業/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                                                             | (基準値)・R2 実績値 |                 | 目標値         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------------|-------------|
| 交流会参加者数                                                                                                                                                                                                                                            | (H30:27 人)   | H28～R2 累計:135 人 | 5 年累計:150 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                                                                   |              |                 |             |
| <p>①移住後の不安解消には人とのつながりを感じることが最も重要であると捉え、自然や文化、アクティビティを通じた交流を複数回実施し、大変喜ばれている。移住後の生活への不安解消や情報共有、仲間づくりがしたいことから、積極的に参加を申し込む方が多い。</p> <p>②さらに多くの参加の促進や地域住民との交流を深められるようなメニューづくりが必要である。</p> <p>③地域住民との交流の場、情報交換の場を提供することにより、移住者の不安解消につなげたいことから事業を拡充する。</p> |              |                 |             |

#### 4-22 北アルプス連携自立圏事業 移住交流事業(～R6)/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                         | (基準値)・R2 実績値 |          | 目標値      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|----------|
| 圏域市町村移住相談件数                                                                                                                                                                                                    | (H30:812 件)  | R2:701 件 | R6:860 件 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                               |              |          |          |
| <p>①人口減少という圏域共通の課題解決に向け、圏域一体で取り組み、地域力の向上と移住促進につながっている。</p> <p>②自治体ごと地域の特色や PR するポイントが異なるため、統一的な取り組みが難しい面がある。</p> <p>③山岳ファン層にターゲットを絞り、「関係人口の創出」を新たな取り組みとして継続する。「北アルプス」という共通の資源、知名度を活かし、全国から北アルプス地域ファンを獲得する。</p> |              |          |          |

#### 4-23 北アルプス連携自立圏事業 若者交流事業(～R6)/まちづくり交流課

| 事業数値項目                                                                                                                                                                                                | (基準値)・R2 実績値 |          | 目標値      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|----------|
| イベント参加者数                                                                                                                                                                                              | (H30:787 人)  | R2:211 人 | R6:800 人 |
| ①評価・意見/②課題(取り組みが遅れている理由)/③今後の方向性                                                                                                                                                                      |              |          |          |
| <p>①若者の流出や少子化の状況が深刻であることは各自治体に共通しており、若者の出会いへの支援を圏域で行う意義は大きいと考える。</p> <p>②従来の合コンイベント形式は地元の若者からは敬遠傾向にあり、参加者を十分に集められない状況にある。</p> <p>③若者の結婚に対する憧れ意識や恋愛観の醸成、自己啓発セミナーの開催などへ方向性を変え、地元での結婚に結びつくよう事業推進を図る。</p> |              |          |          |